

内外経済動向

2024年1月

経済産業政策局 調査課

世界銀行・IMF 経済見通し（2025年1月公表）

- 世界銀行は、25年・26年の世界の実質成長率見通しをいずれも2.7%と前回から据え置き。米国による景気拡大を原動力に堅調な成長が見込まれる一方で、引き続き成長率の水準はコロナ禍以前よりも低いとした。
- IMFは、25年の世界の実質成長率見通しを3.3%と前回（3.2%）から上方修正。米国が上方修正（底堅い個人消費や堅調な労働市場、投資の加速による）。世界のインフレ率は、25年に4.2%、26年に3.5%に低下し、景気抑制的ではない金融政策が成長を支えることが可能になることを見込む一方で、世界の貿易政策の不確実性の高まりがもたらす負の影響（貿易摩擦の激化、投資の減少など）も指摘された。

	2024年成長率見通し		2025年成長率見通し					2026年成長率見通し			
	世界銀行	IMF	世界銀行		IMF		(参考) OECD (2024年12月)	世界銀行		IMF	
	(2025年1月)	(2025年1月)	(2024年6月)	(2025年1月)	(2024年10月)	(2025年1月)		(2024年6月)	(2025年1月)	(2024年10月)	(2025年1月)
世界	2.7%	3.2%	2.7%	→ 2.7%	3.2%	↗ 3.3%	3.3%	2.7%	→ 2.7%	3.3%	→ 3.3%
先進国	1.7%	1.7%	1.7%	→ 1.7%	1.8%	↗ 1.9%	-	1.8%	→ 1.8%	1.8%	→ 1.8%
日本	0.0%	▲ 0.2%	1.0%	↗ 1.2%	1.1%	→ 1.1%	1.5%	0.9%	→ 0.9%	0.8%	→ 0.8%
米国	2.8%	2.8%	1.8%	↗ 2.3%	2.2%	↗ 2.7%	2.4%	1.8%	↗ 2.0%	2.0%	↗ 2.1%
ユーロ圏	0.7%	0.8%	1.4%	↘ 1.0%	1.2%	↘ 1.0%	1.3%	1.3%	↘ 1.2%	1.5%	↘ 1.4%
新興国・途上国	4.1%	4.2%	4.0%	↗ 4.1%	4.2%	→ 4.2%	-	3.9%	↗ 4.0%	4.2%	↗ 4.3%
中国	4.9%	4.8%	4.1%	↗ 4.5%	4.5%	↗ 4.6%	4.7%	4.0%	→ 4.0%	4.1%	↗ 4.5%
インド	6.5%	6.5%	6.7%	→ 6.7%	6.5%	→ 6.5%	6.9%	6.8%	↘ 6.7%	6.5%	→ 6.5%
ロシア	3.4%	3.8%	1.4%	↗ 1.6%	1.3%	↗ 1.4%	1.1%	1.1%	→ 1.1%	1.2%	→ 1.2%

(資料) World Bank「Global Economic Prospects」(January 2025)、IMF「World Economic Outlook」(January 2025)、OECD「Economic Outlook」(December 2024)

※(前回見通しと比較して) ↑: 上方修正、↓: 下方修正、→: 横ばい。
 ※ハイライトは今回公表分 ※2024年は推計、2025年、2026年は予測

日本經濟

米**国**經濟

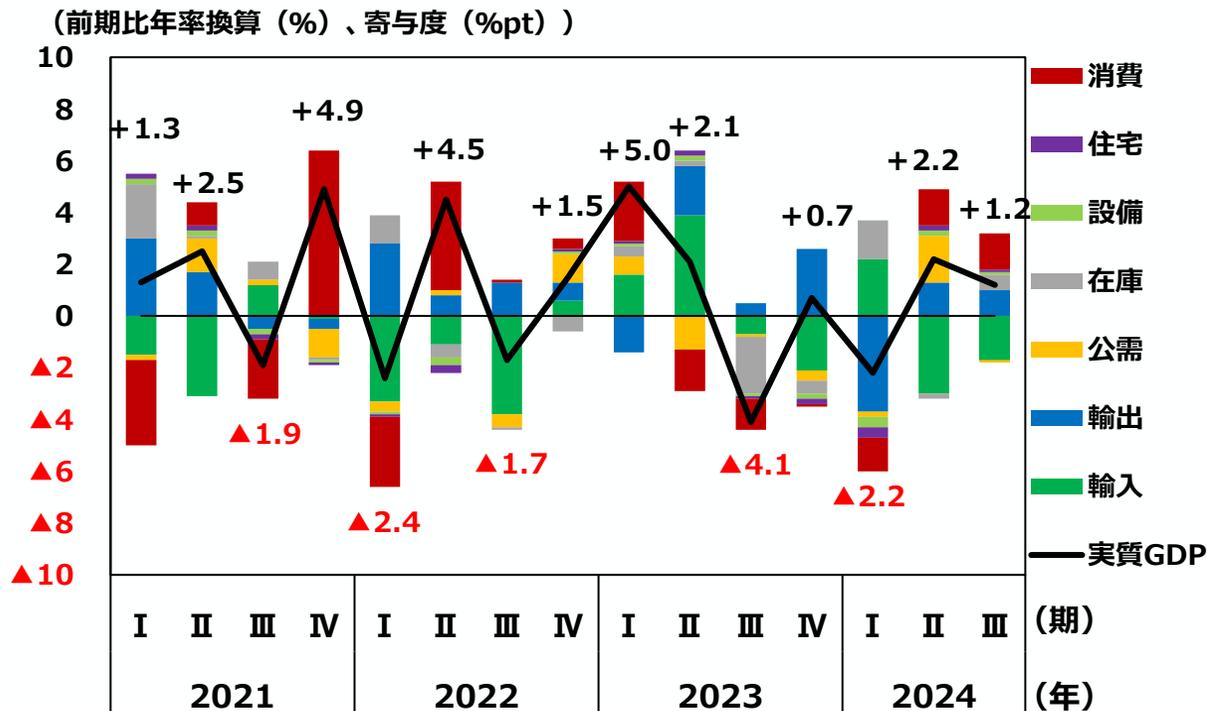
中**国**經濟

欧**州**經濟

GDP

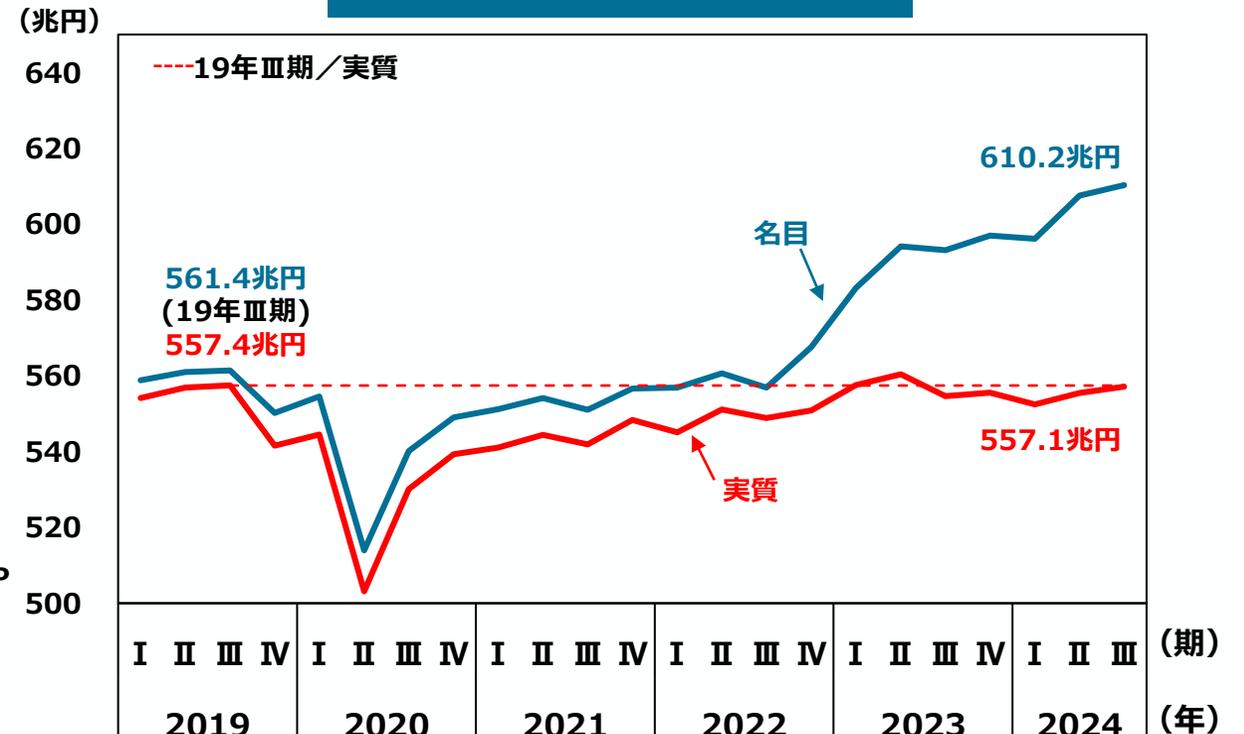
- 2024年7-9月期実質GDP（2次速報値）は、2四半期連続のプラス成長。
- 民間消費や民間在庫変動の増加が寄与し、実質GDP前期比+0.3%（年率+1.2%）。
- 年率換算では、名目で610.2兆円（過去最高）、実質で557.1兆円（コロナ前水準を下回る）。

実質GDPの成長率の推移（年率）



(資料) 内閣府「国民経済計算」 2024年12月9日公表 (2次速報値)

GDPの推移（年率換算）



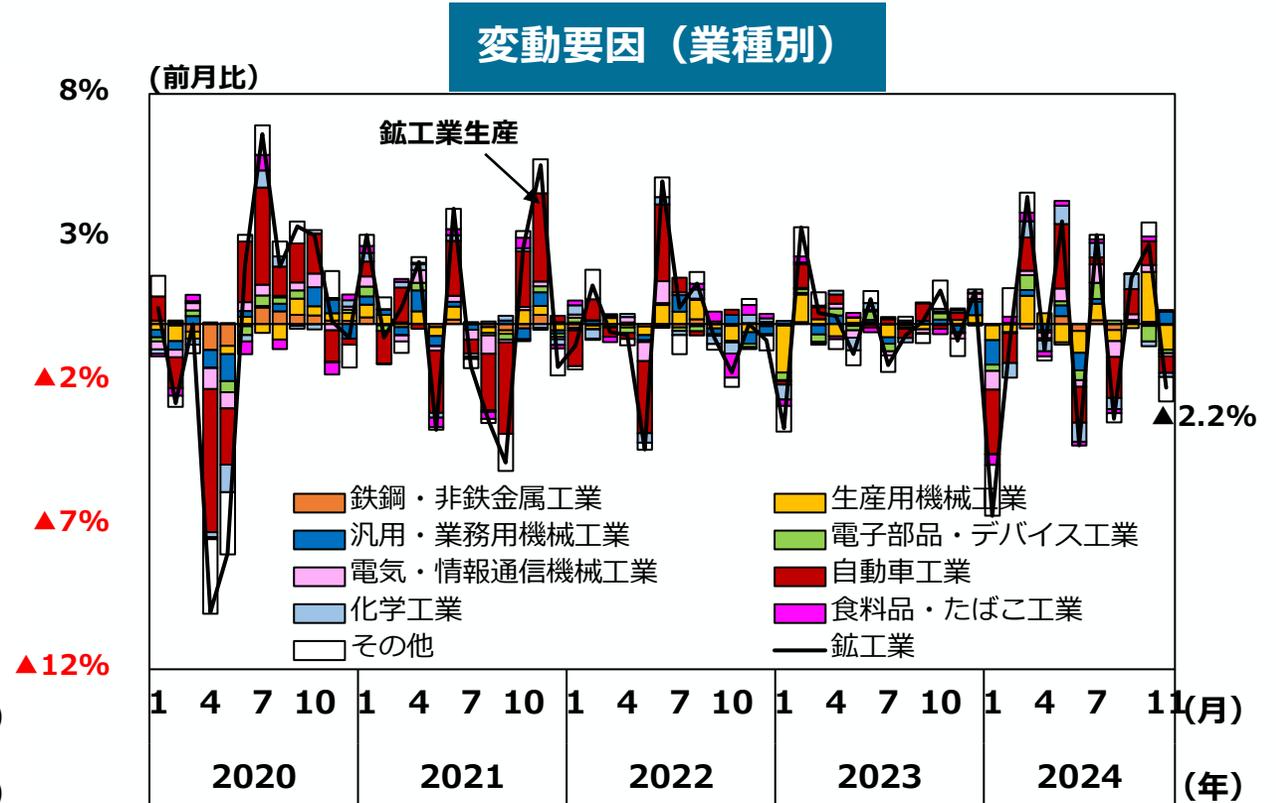
(資料) 内閣府「国民経済計算」 2024年12月9日公表 (2次速報値)

生産

- 24年11月は、前月比▲2.2%と3ヶ月ぶりの低下。自動車工業は一部車種の生産・出荷停止影響により3ヶ月ぶりの低下。生産用機械工業は高水準からの反動減。電子部品・デバイス工業は低下。
- 24年11月の生産の基調判断は「生産は一進一退」。(据え置き)



(注) 季節調整値
 (資料) 経済産業省「鋳工業指数」 2025年1月20日公表 (確報値)

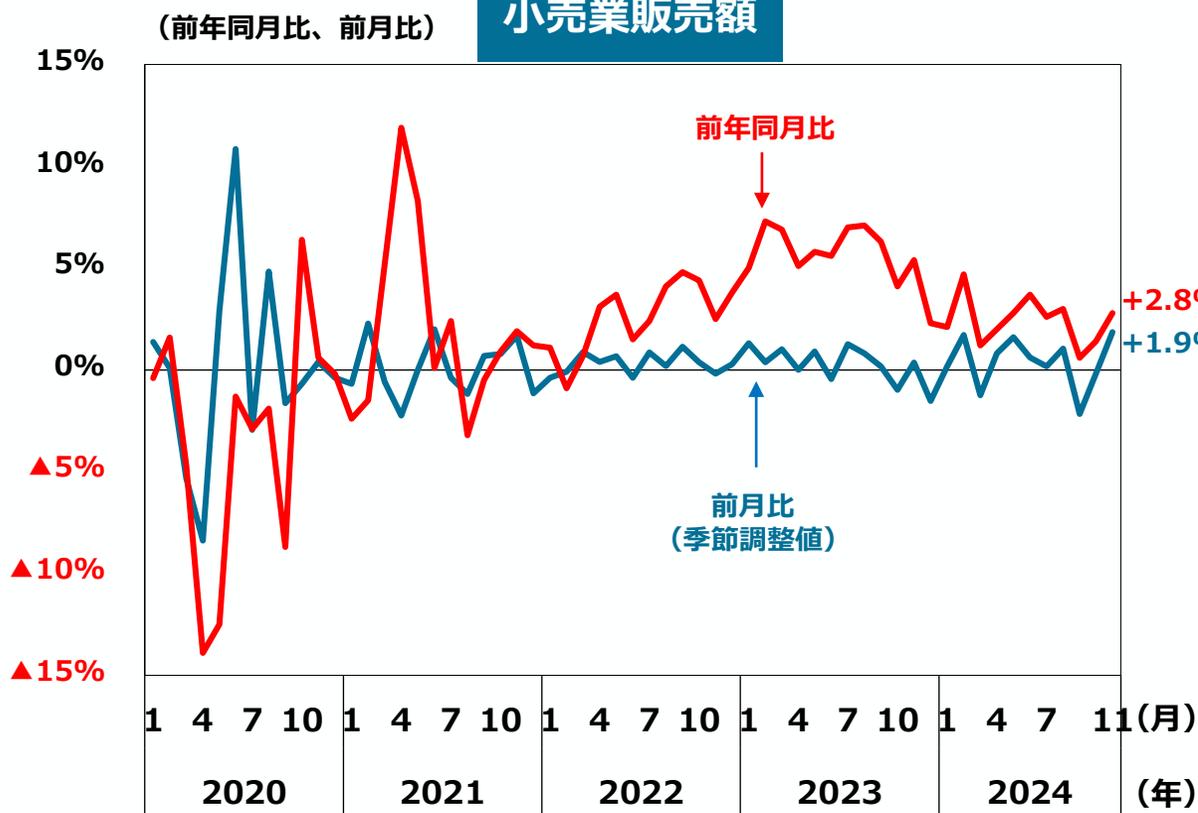


(注) 季節調整値
 (資料) 経済産業省「鋳工業指数」 2025年1月20日公表 (確報値)

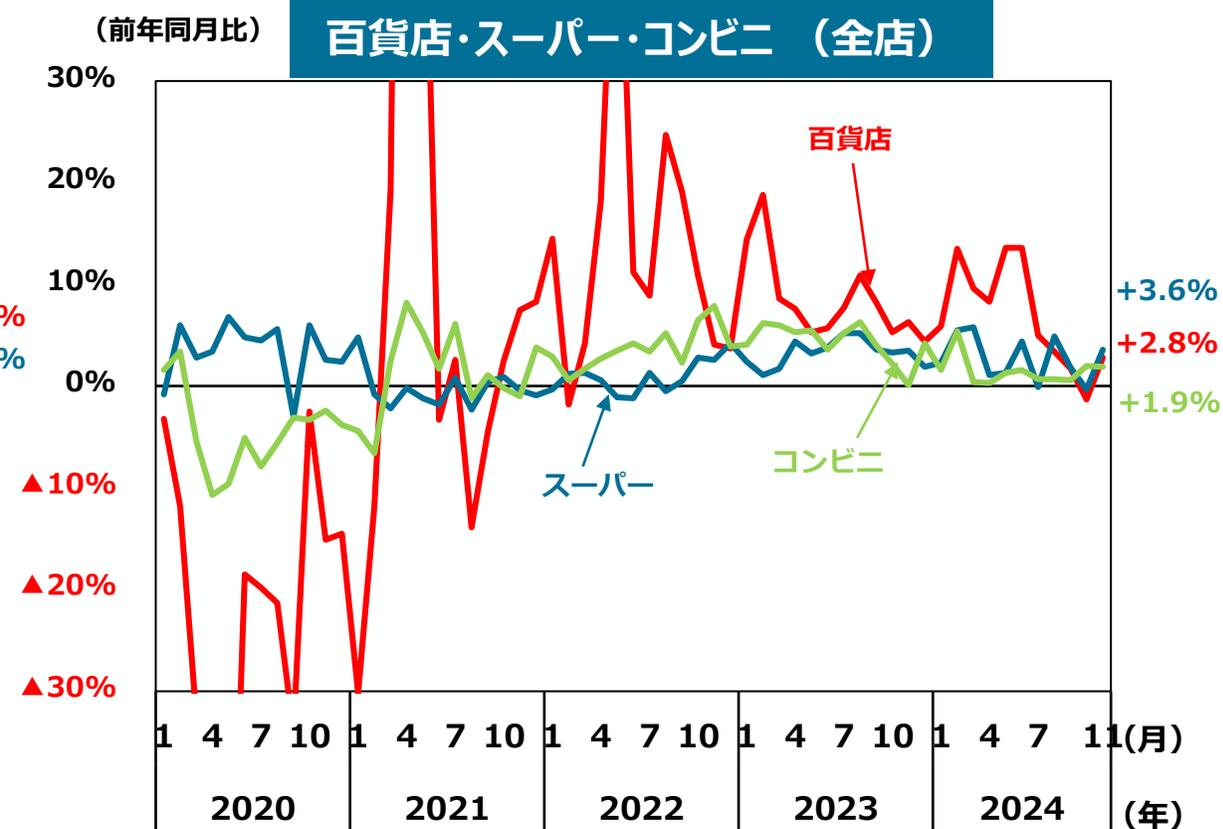
消費①

- 24年11月の小売業販売額は、14.2兆円。前年同月比は+2.8%で33か月連続の増加となり、前月比は+1.9%で2か月ぶりの増加となった。
- 主要な業態では、販売額（前年同月比）でコンビニ、百貨店、スーパーとも増加。

小売業販売額



百貨店・スーパー・コンビニ (全店)

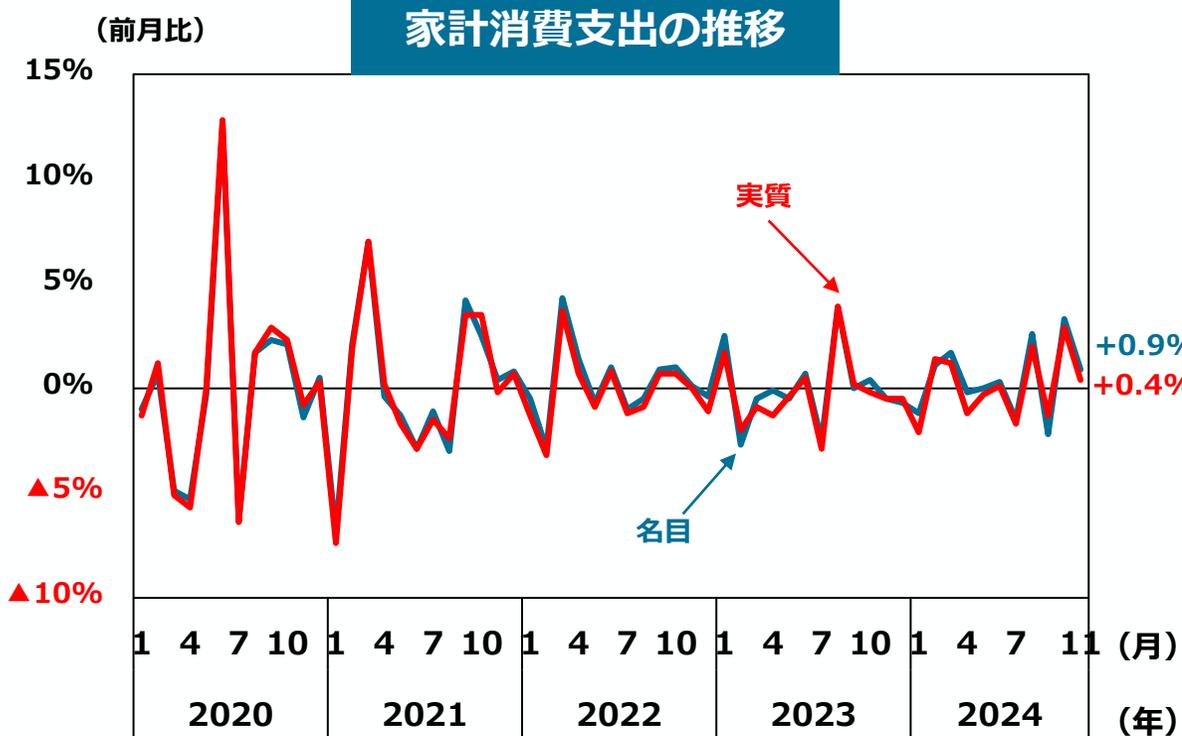


(資料) 経済産業省「商業動態統計」2025年1月16日公表 (確報値)

(資料) 経済産業省「商業動態統計」2025年1月16日公表 (確報値)

消費②

- 24年11月の実質家計消費支出は前月比+0.4%と、2か月連続のプラス（前年同月比は▲0.4%と4か月連続のマイナス）。なお、名目家計消費支出は前月比+0.9%（前年同月比は+3.0%）。
- 消費者マインドは、改善に足踏みがみられる。



(注) 二人以上の世帯、季節調整値。
(資料) 総務省「家計調査」2025年1月10日公表



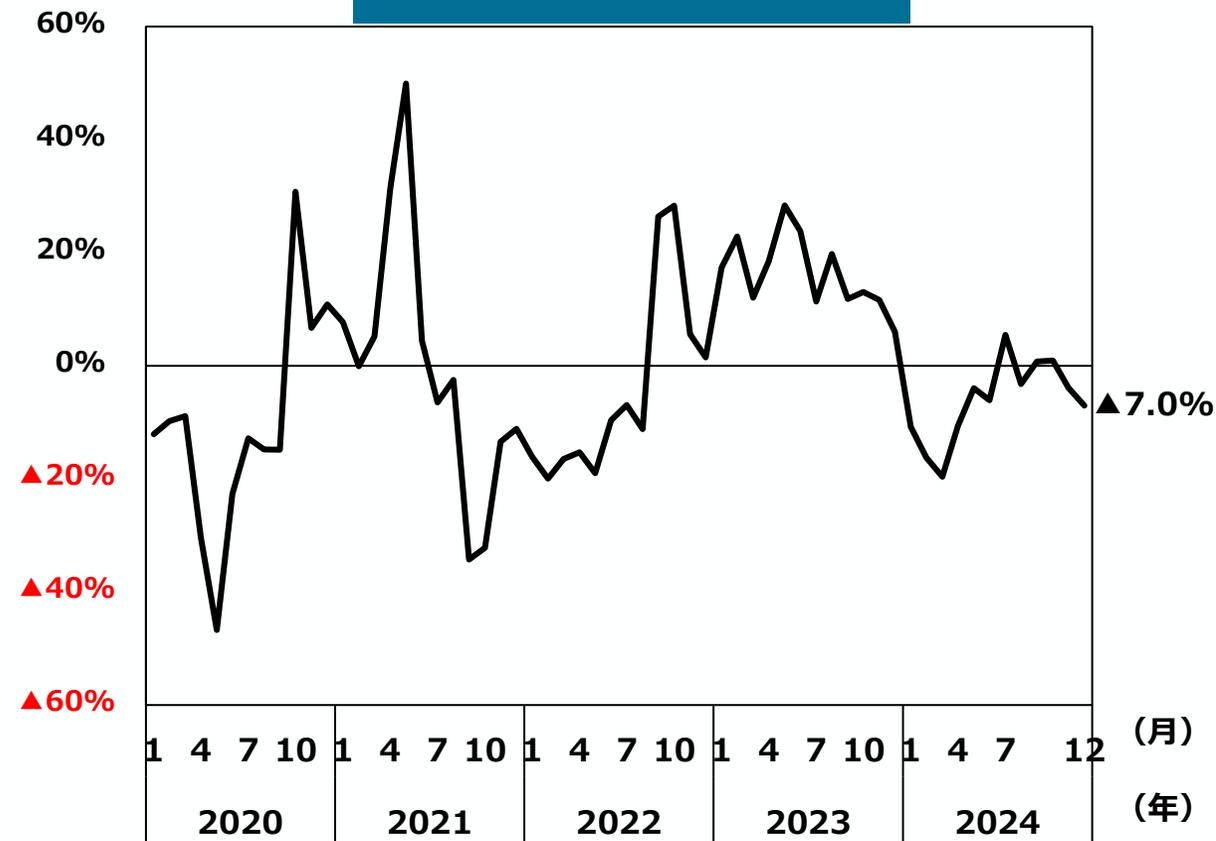
(注) 二人以上の世帯、季節調整値。
(資料) 内閣府「消費動向調査」2025年1月8日公表

消費③

- 24年12月の新車販売台数は28.0万台。前年同月比▲7.0%と、2か月連続のマイナス。
- 24年11月の外食売上高は前年同月比+10.5%のプラス。

(前年同月比)

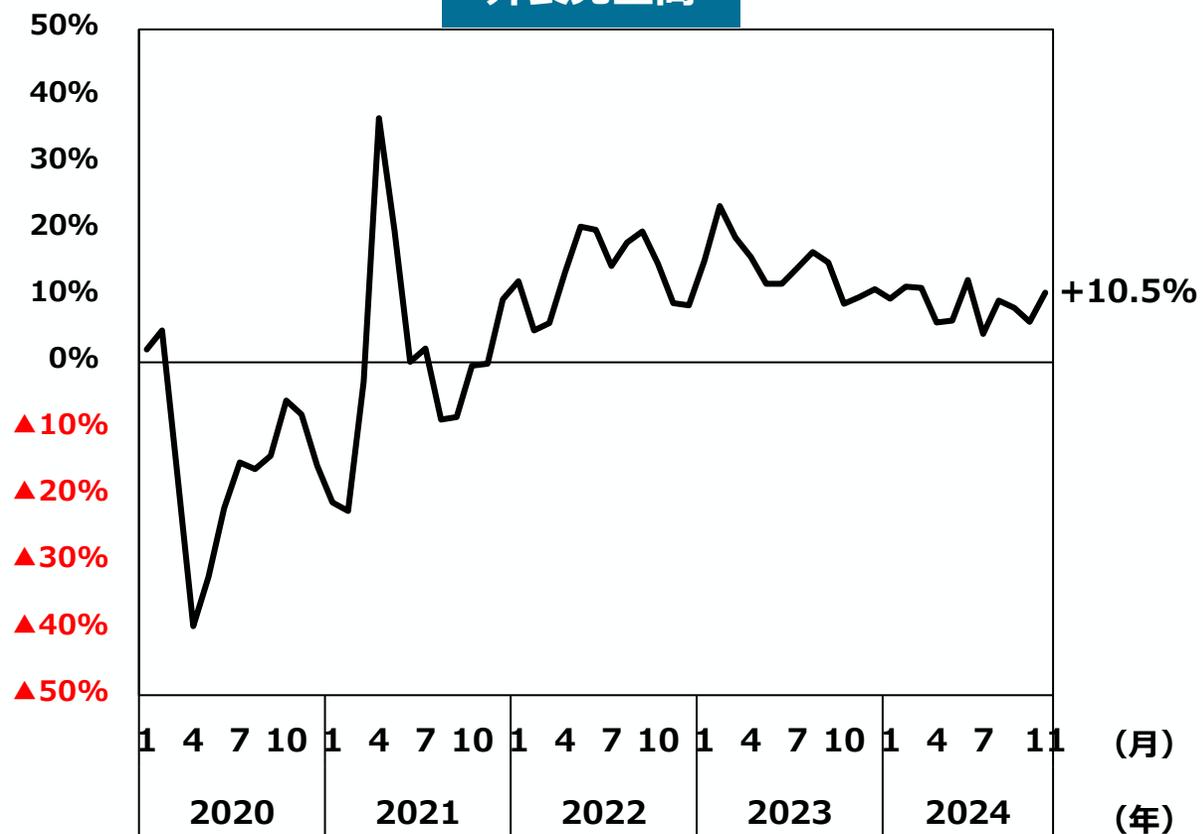
新車販売台数



(資料) 日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」2025年1月6日公表
 全国軽自動車協会連合会「軽四輪車 新車販売台数」2025年1月6日公表

(前年同月比)

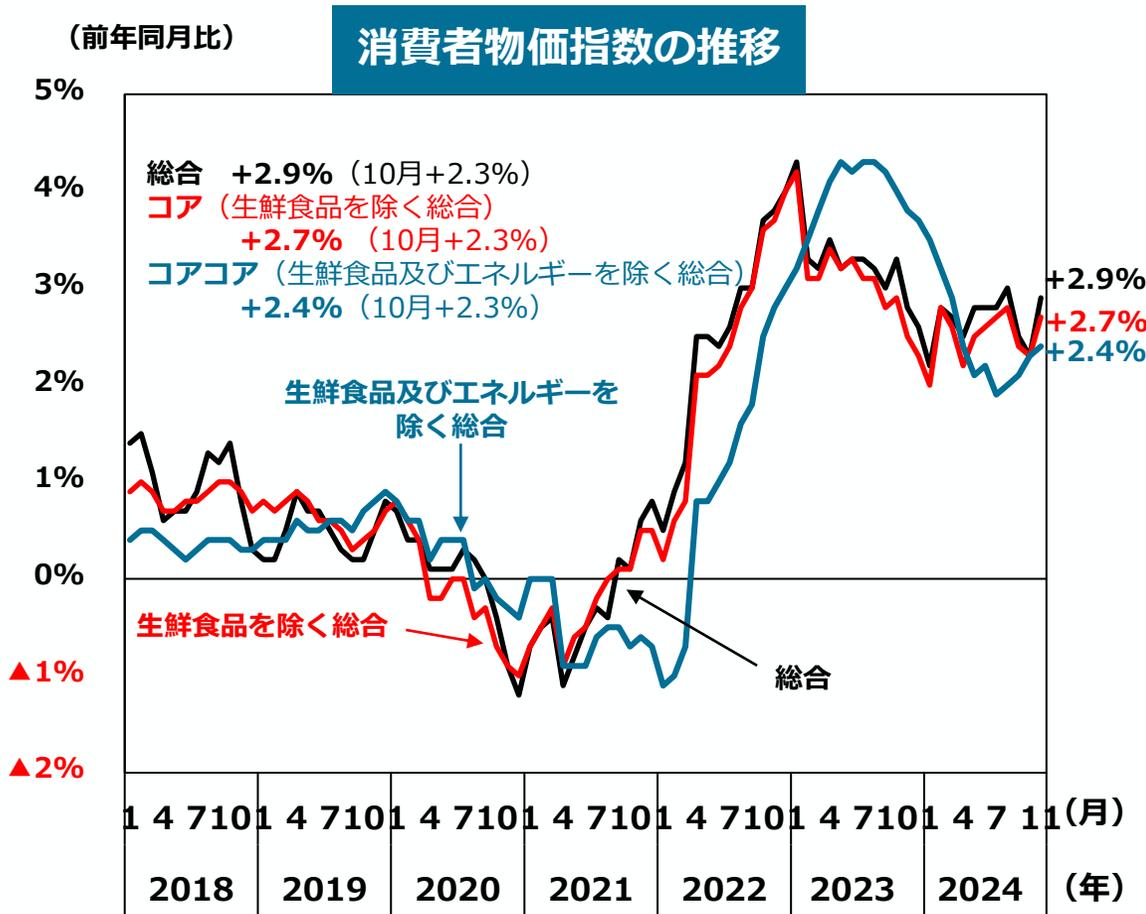
外食売上高



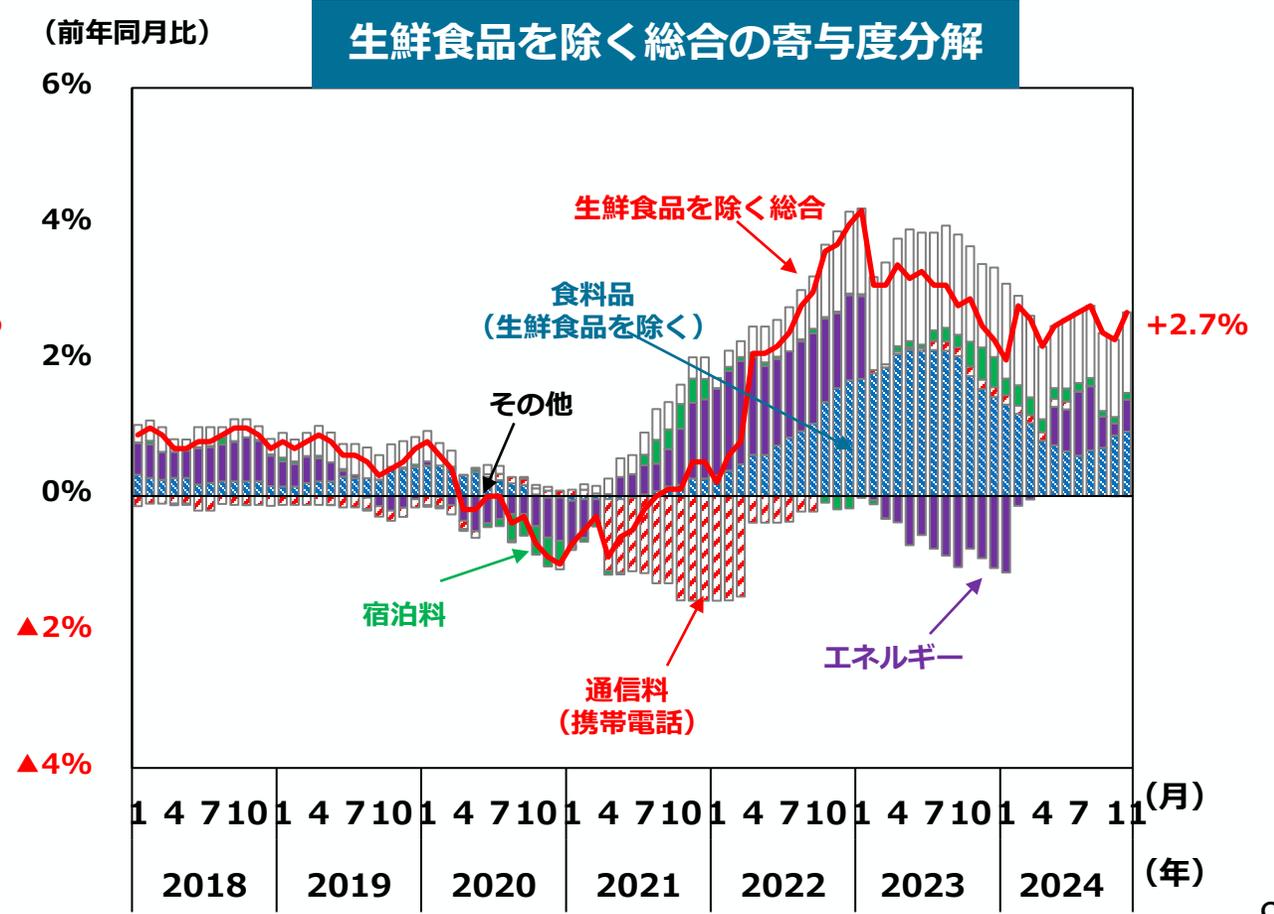
(資料) 日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」2024年12月25日公表

物価①

- 24年11月の消費者物価指数（総合）は前年同月比+2.9%、生鮮食品を除く総合（コア）は同+2.7%、生鮮食品及びエネルギーを除く総合（コアコア）は同+2.4%となった。



(資料) 総務省「消費者物価指数」2024年12月20日公表



(資料) 総務省「消費者物価指数」2024年12月20日公表

物価②

- 24年12月の国内企業物価指数は前年同月比+3.8%（24年11月：同+3.8%）と、伸びが横ばい。酷暑乗り切り緊急支援策による補助が終了したことなどを受けて、電力・都市ガス・水道の上昇幅が拡大。一方、飲食料品は上昇幅が縮小。

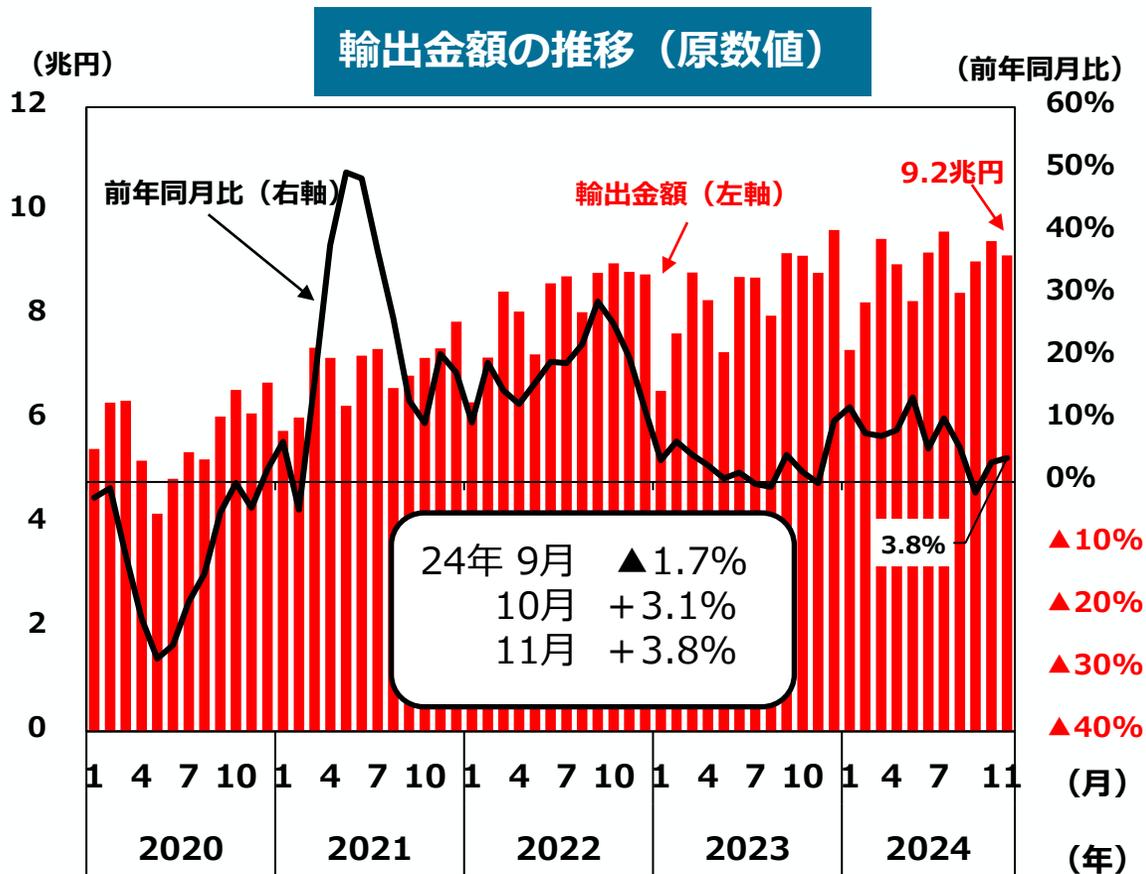
国内企業物価指数の推移



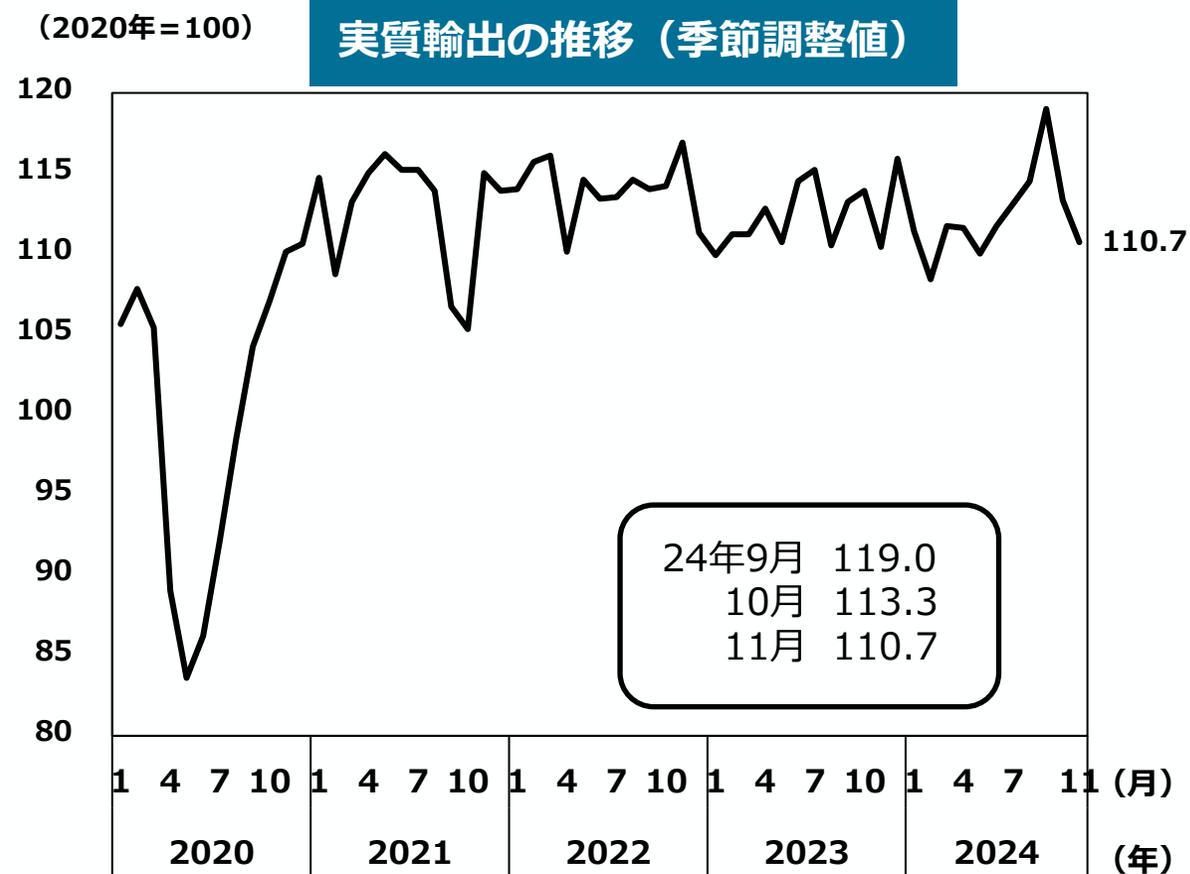
(資料) 日本銀行「企業物価指数」2025年1月16日公表

輸出

- 24年11月の輸出金額（9.2兆円）は前年同月比+3.8%と2ヶ月連続の増加。
- 実質輸出は前月比▲2.3%と2ヶ月連続の減少。



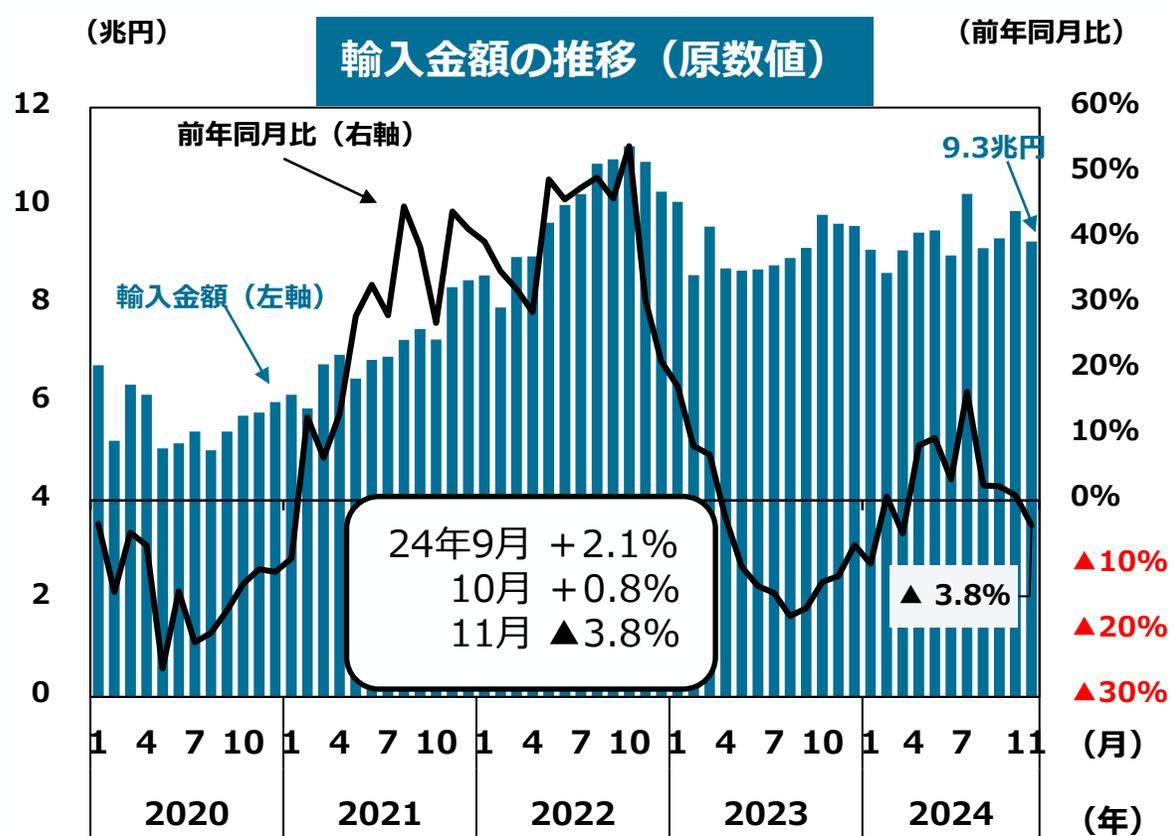
（資料）財務省「貿易統計」2024年12月26日公表（確報値）



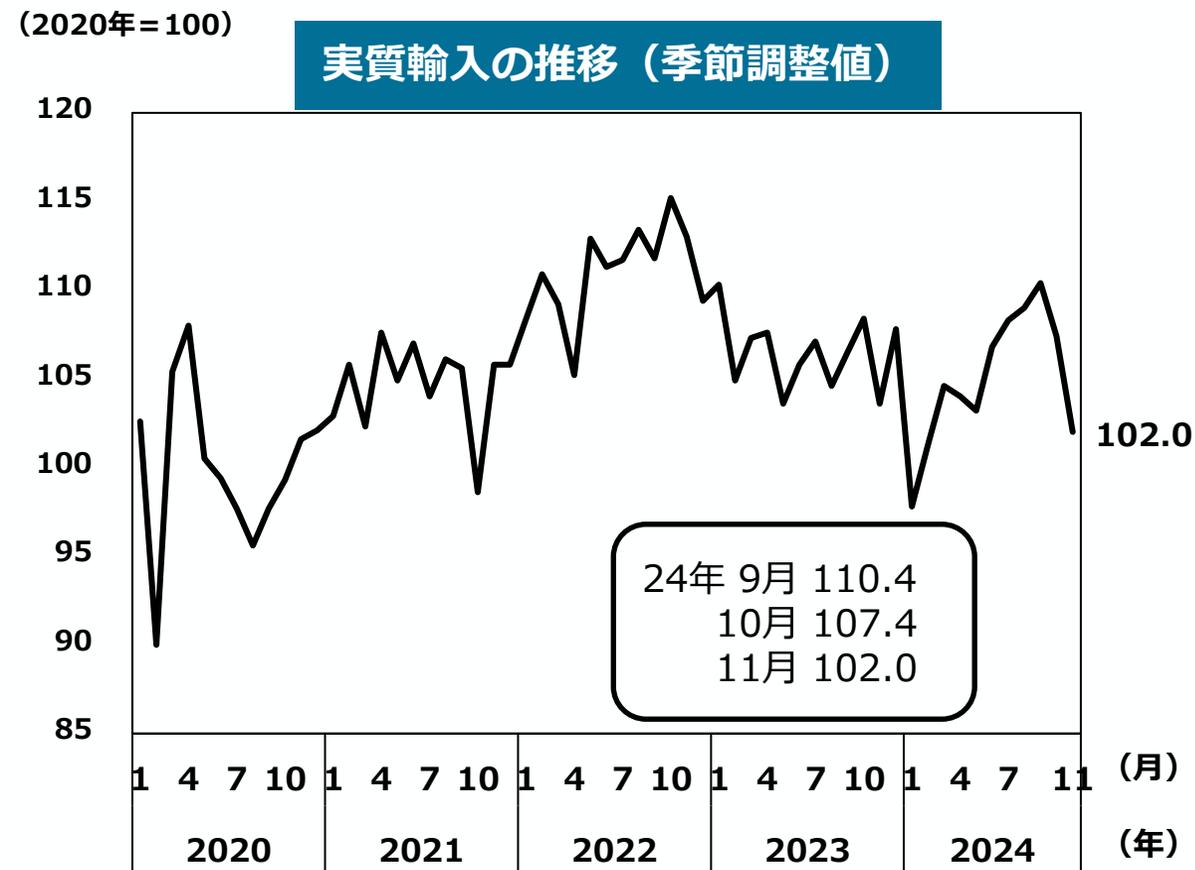
（資料）日本銀行「実質輸出入の動向」2024年12月18日公表

輸入

- 24年11月の輸入金額（9.3兆円）は前年同月比▲3.8%と8ヶ月ぶりの減少。
- 実質輸入は前月比▲5.0%と2ヶ月連続の減少。



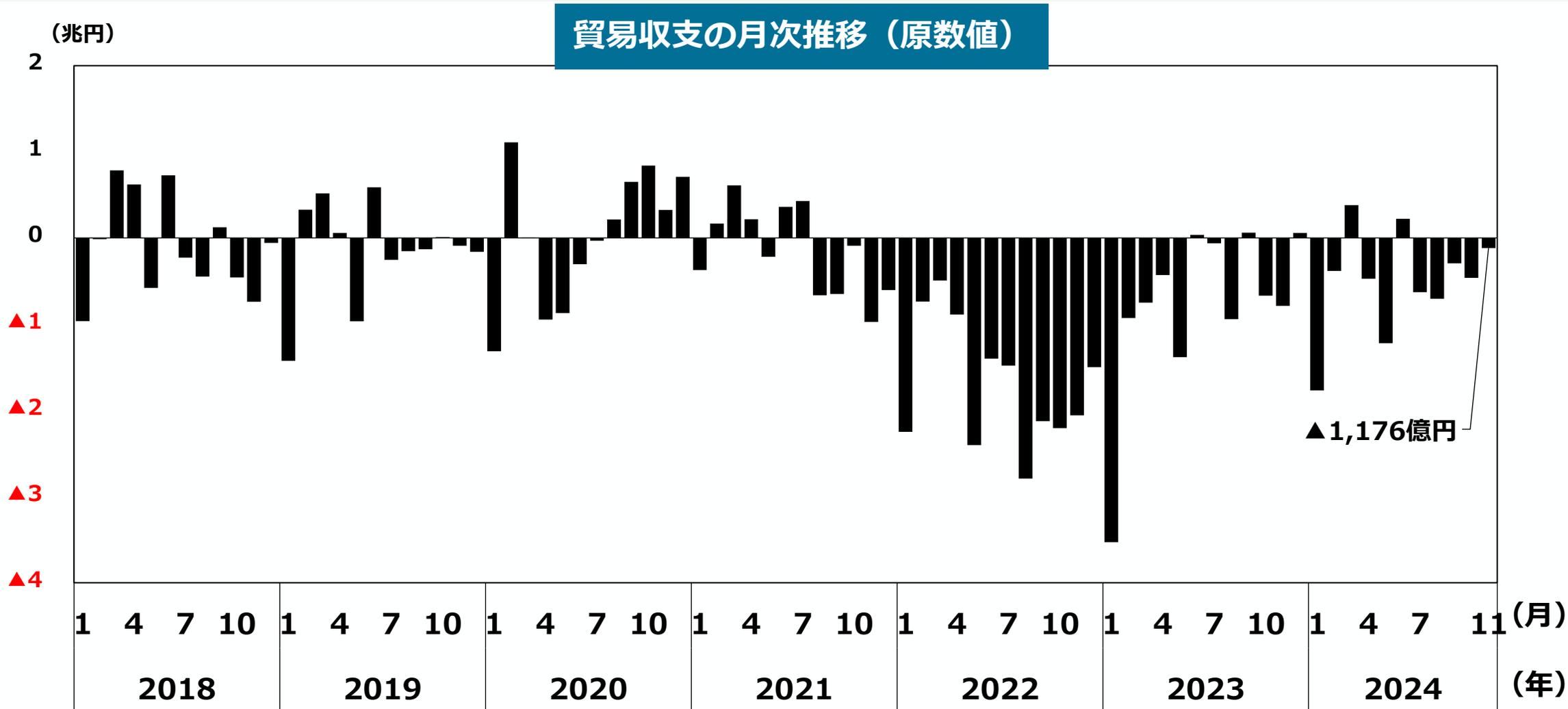
(資料) 財務省「貿易統計」2024年12月26日公表 (速報値)



(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2024年12月18日公表

貿易収支

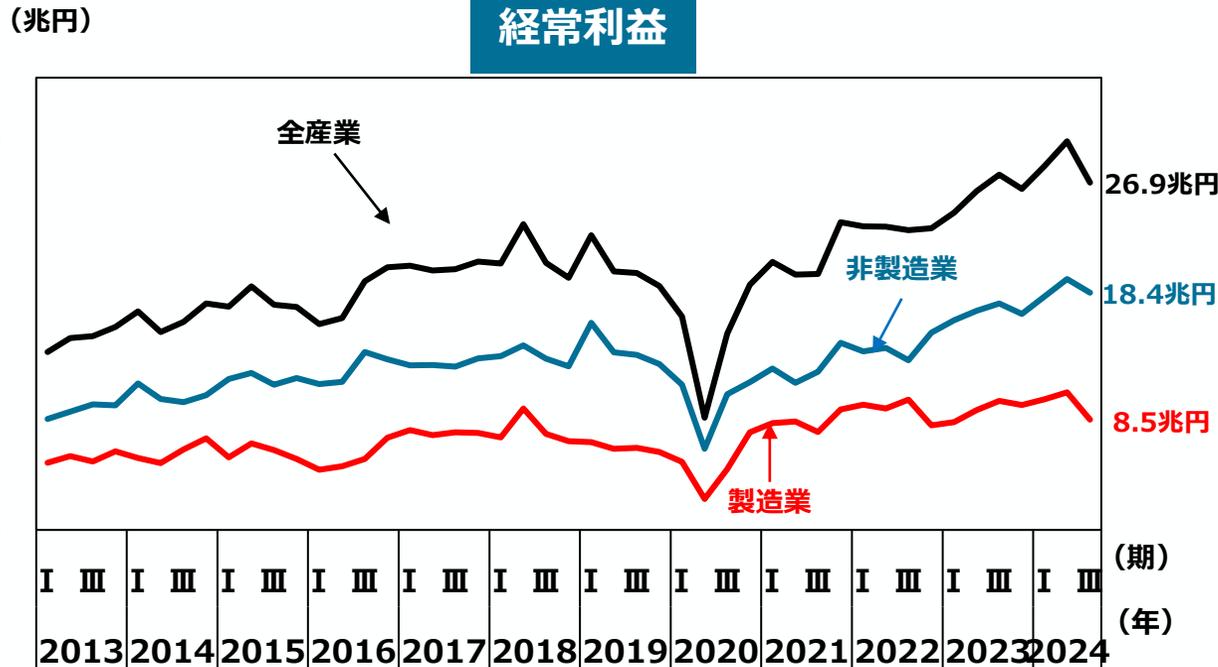
- 24年11月の貿易収支は、▲1,176億円と5ヶ月連続の赤字。



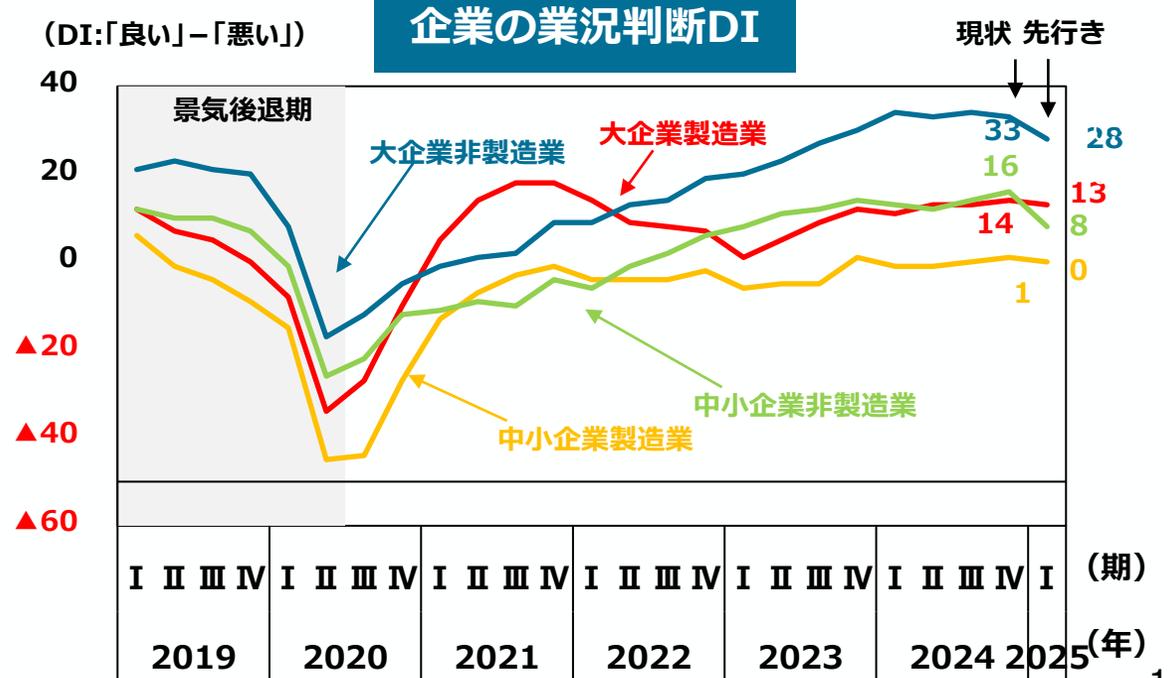
(資料) 財務省「貿易統計」2024年12月26日公表 (確報値)

企業収益 業況判断

- 24年7-9月期の経常利益は、全規模全産業で26.9兆円(前期比▲10.6%)と減少。製造業は同▲19.9%と3四半期ぶりの減益、非製造業は同▲5.5%と3四半期ぶりの減益。
- 24年12月調査時点の業況は、大企業製造業、中小企業製造業、中小企業非製造業は改善、大企業非製造業は悪化。先行きは、大企業製造業、大企業非製造業、中小企業製造業、中小企業非製造業は悪化が見込まれる。



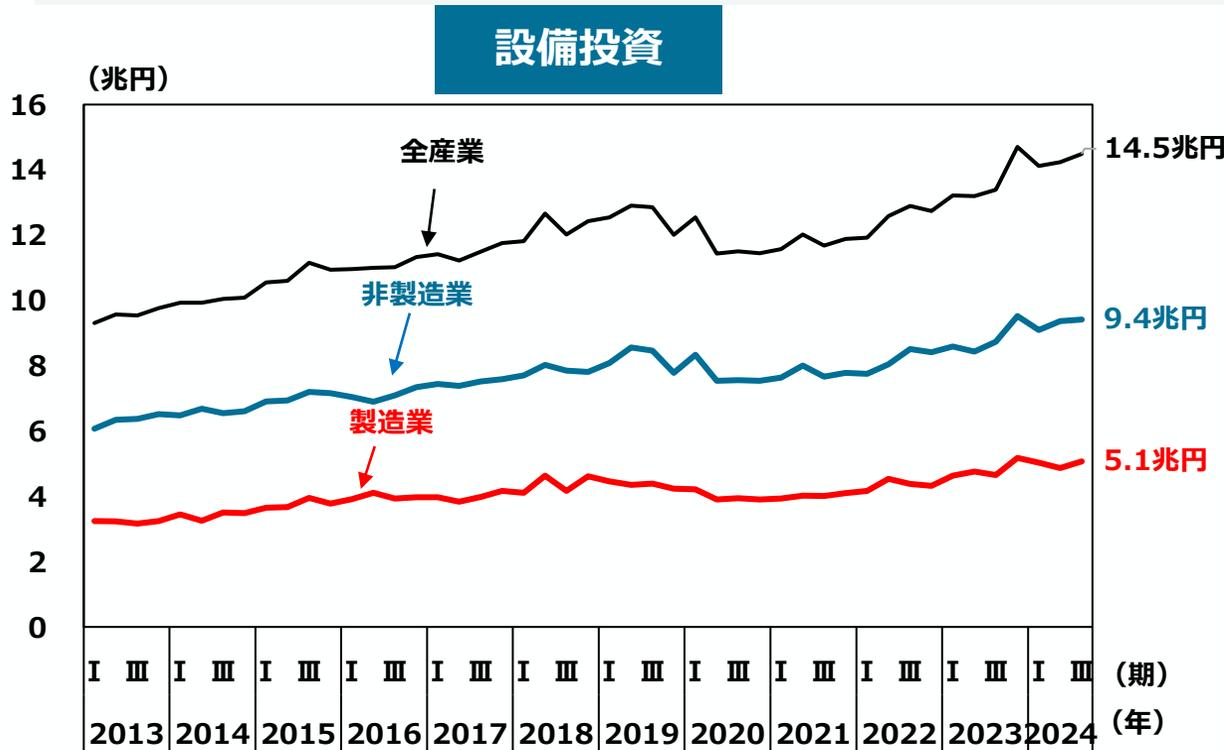
(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く。
(資料) 財務省「法人企業統計季報」2024年12月2日公表



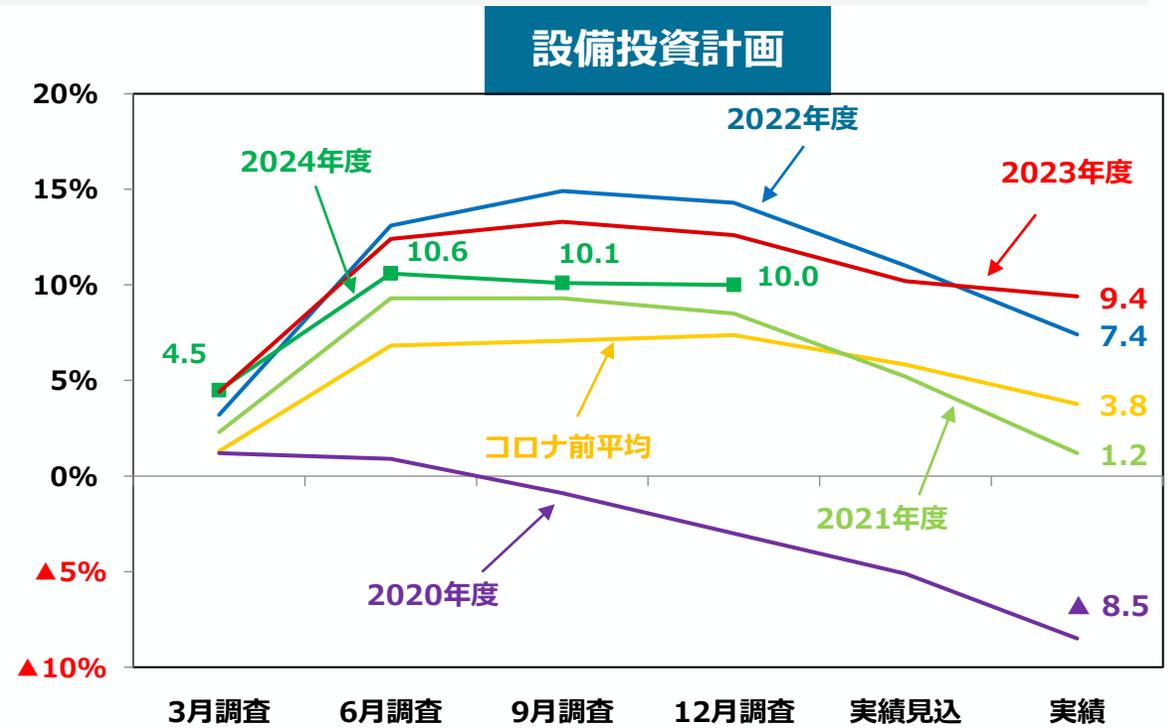
(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2024年12月14日公表

設備投資

- 24年7-9月期の設備投資は全規模全産業で14.5兆円（前期比+1.7%）と、過去4位の額。製造業は同+4.2%と3四半期ぶりの増加、非製造業は同+4.2%と2四半期連続の増加。
- 23年度設備投資実績は全規模全産業で前年度比+9.4%、24年12月調査時点の24年度設備投資計画は全規模全産業で同+10.0%。



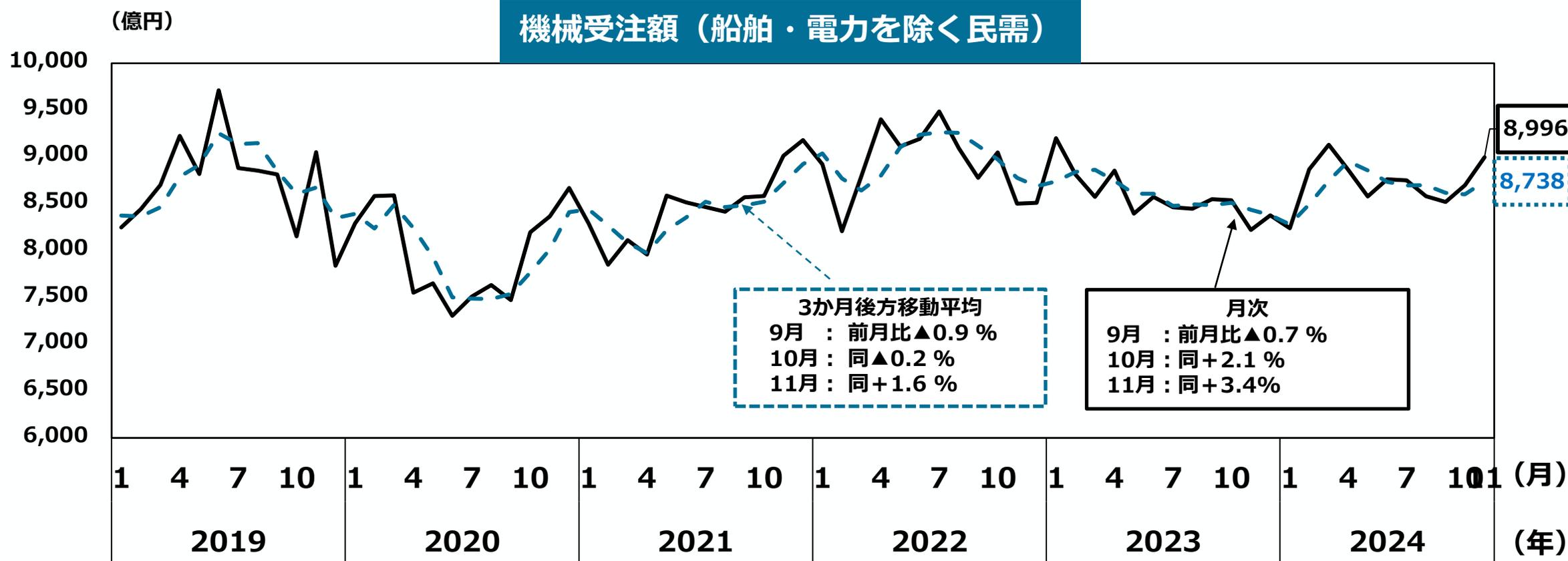
(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く、ソフトウェアを含む。
 (資料) 財務省「法人企業統計季報」2024年12月2日公表



(注) 「コロナ前平均」は、2017年度～2019年度の平均値。
 ソフトウェア投資額・研究開発投資額を含み、土地投資額を含まない。
 (資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2024年12月14日公表

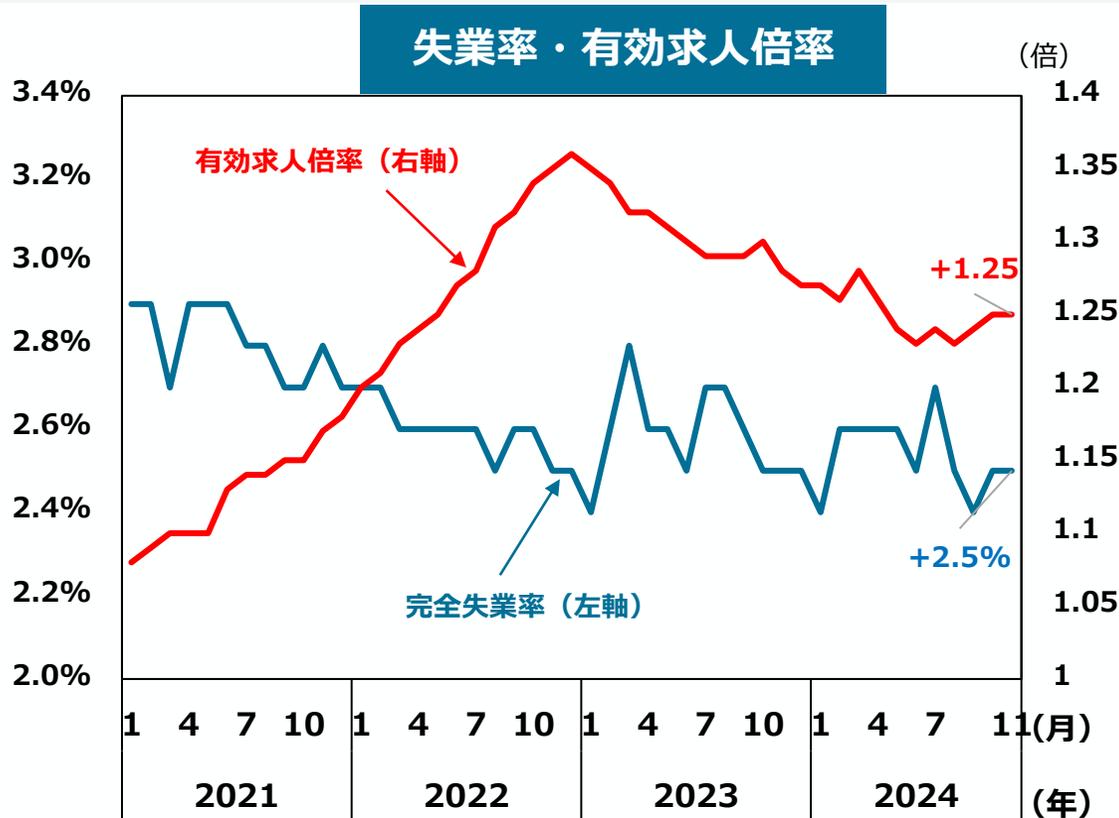
機械受注

- 11月の機械受注額(船舶・電力を除く民需)は、8,996億円（前月比+3.4%）と、2ヶ月連続の増加。
- 基調判断は、足元は持ち直しの動きがみられる。



雇用

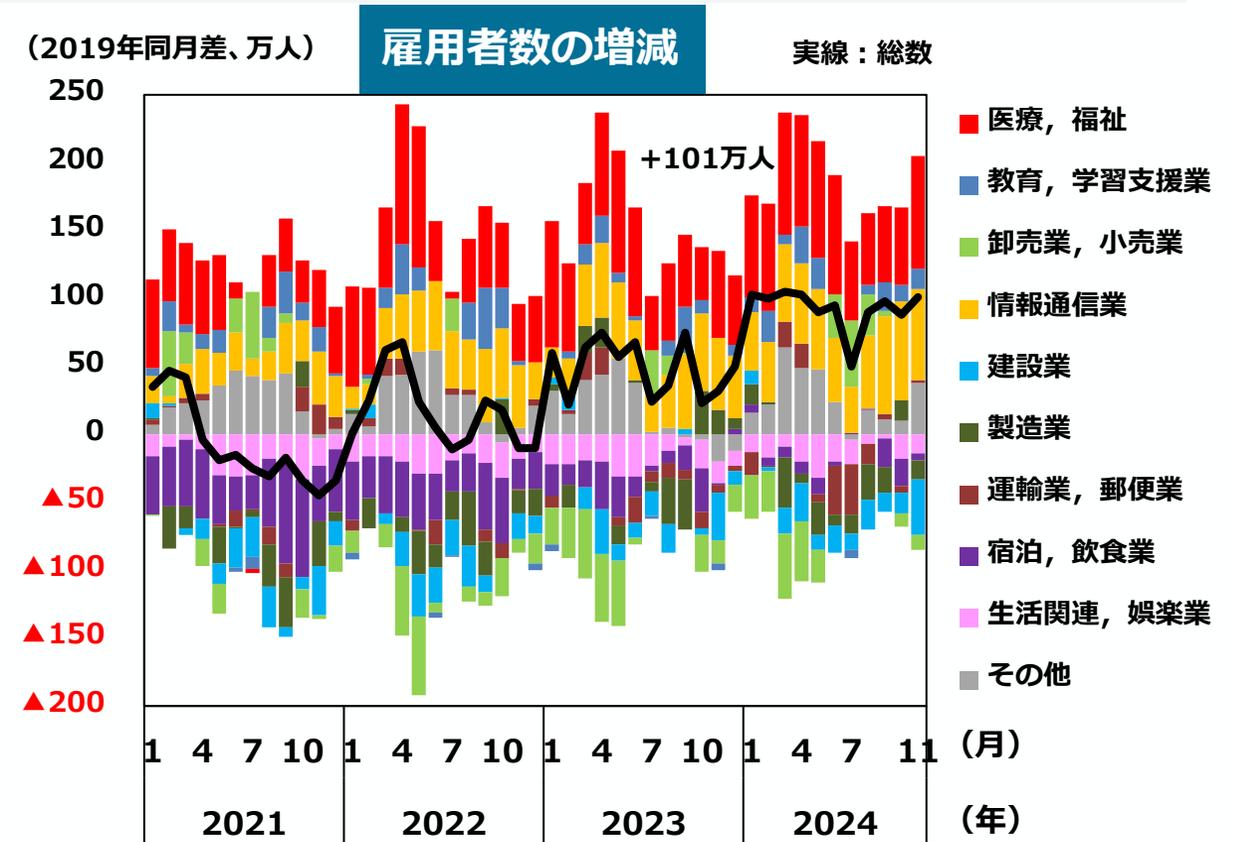
- 24年11月の完全失業率は+2.5%、有効求人倍率は+1.25倍と前月から横ばい。
- 24年11月の雇用者数は、19年同月差で+101万人。産業別では、医療、福祉、情報通信業等がコロナ前との比較で増加。



(注) 季節調整値

(資料) 総務省「労働力調査」2024年12月27日公表

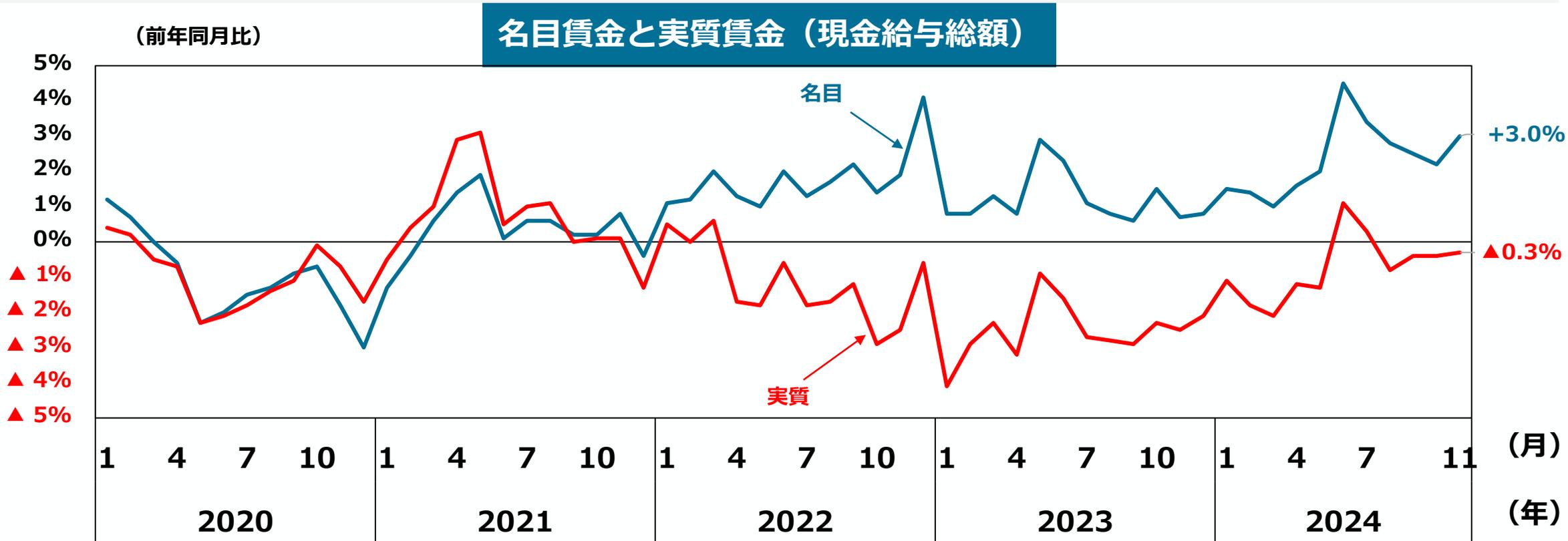
厚生労働省「一般職業紹介状況」2024年12月27日公表



(資料) 総務省「労働力調査」 2024年12月27日公表

賃金

- 24年11月の名目賃金は前年同月比+3.0%、実質賃金は同▲0.3%。
- 「名目賃金」は35ヶ月連続プラス。所定内給与、所定外給与はプラス。賞与はプラス転換。
- 「実質賃金」は11月は▲0.3%（10月:▲0.4%）と4ヶ月連続のマイナス。



(資料) 厚生労働省「毎月勤労統計」2025年1月9日公表 (速報値)

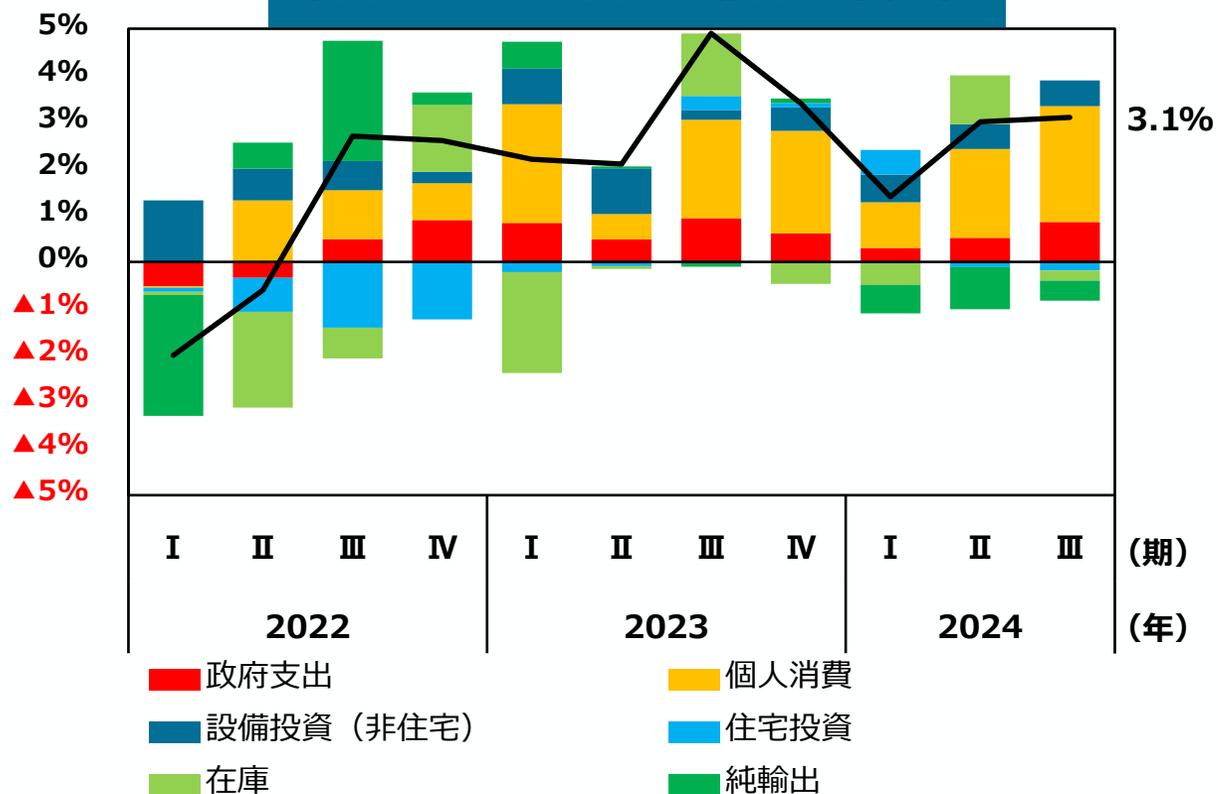
- 日本經濟
- 美国經濟
- 中国經濟
- 欧州經濟

米国GDP

- 24年7-9月期実質GDP成長率（確報値）は、前期比+3.1%と、9四半期連続のプラス成長。個人消費や設備投資の堅調さがみられた一方、輸入の増加や住宅投資の減速が下押し要因となった。

(前期比年率)

米国実質GDP寄与度（需要項目別）



(注) 季節調整値

(資料) 米商務省「GDP統計」2024年12月19日公表（確報値）

需要項目別・成長率

(前期比年率)

	4-6月期	7-9月期 確報	増減
実質GDP	3.0	3.1	0.1
個人消費	2.8	3.7	0.9
設備投資	3.9	4.0	0.1
住宅投資	▲ 2.8	▲ 4.3	▲ 1.5
輸出	1.0	9.6	8.6
輸入	7.6	10.7	3.1
政府支出	3.1	5.1	2.0

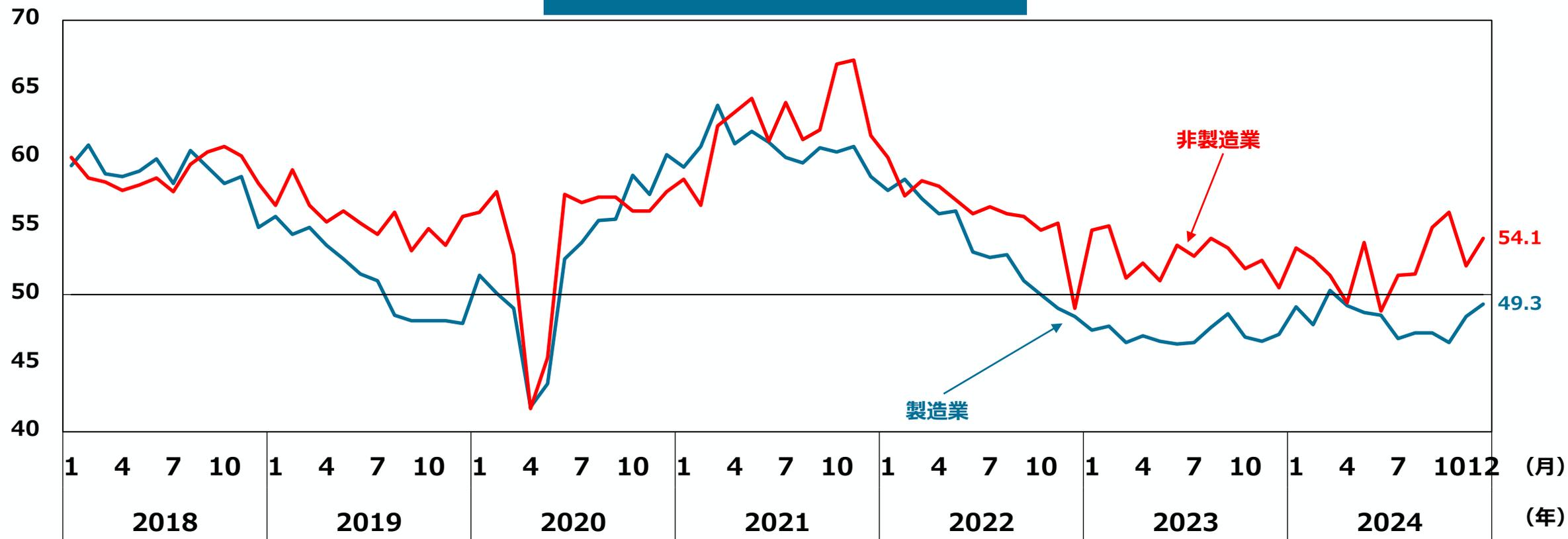
(資料) 米商務省

(資料) 米商務省「GDP統計」2024年12月19日公表（確報値）

米国 ISM製造業・非製造業景気指数

- 24年12月ISM製造業景気指数（総合）は49.3と、前月（48.4）から上昇した。
- 24年12月ISM非製造業景気指数（総合）は54.1と、前月（52.1）から上昇した。

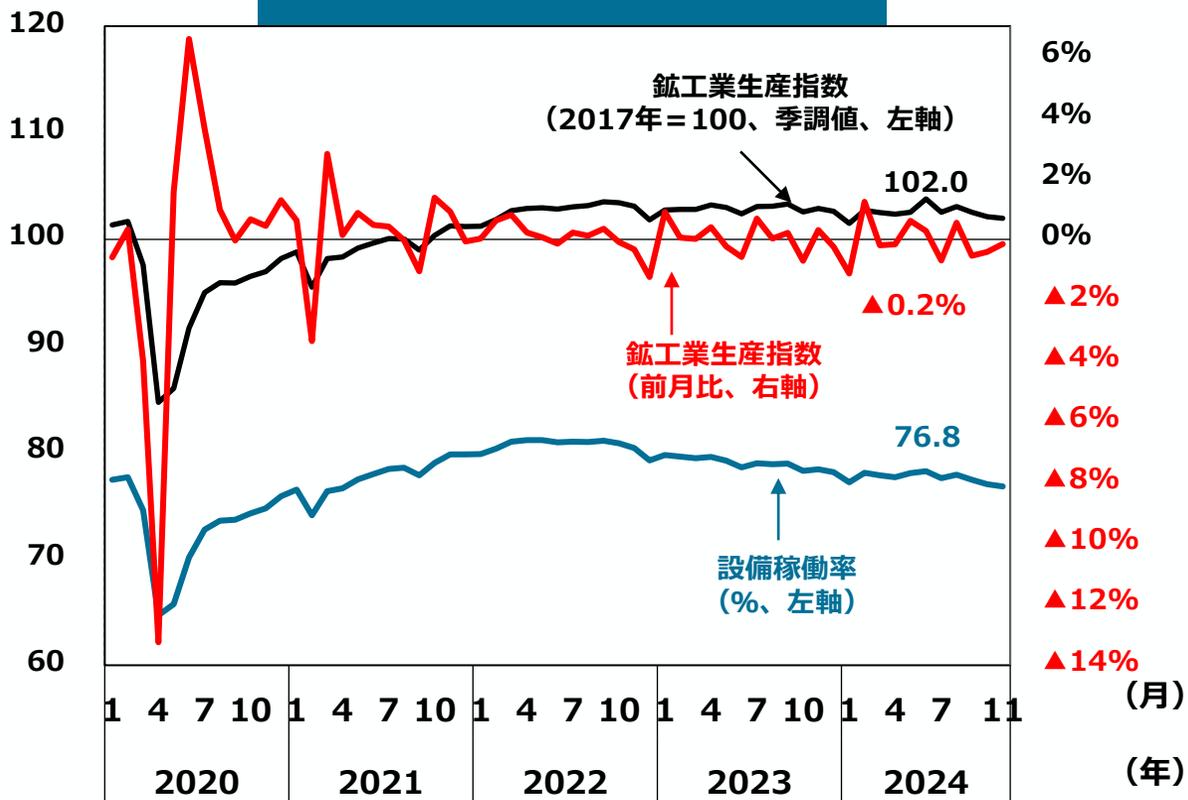
ISM製造業・非製造業景気指数



米国 生産

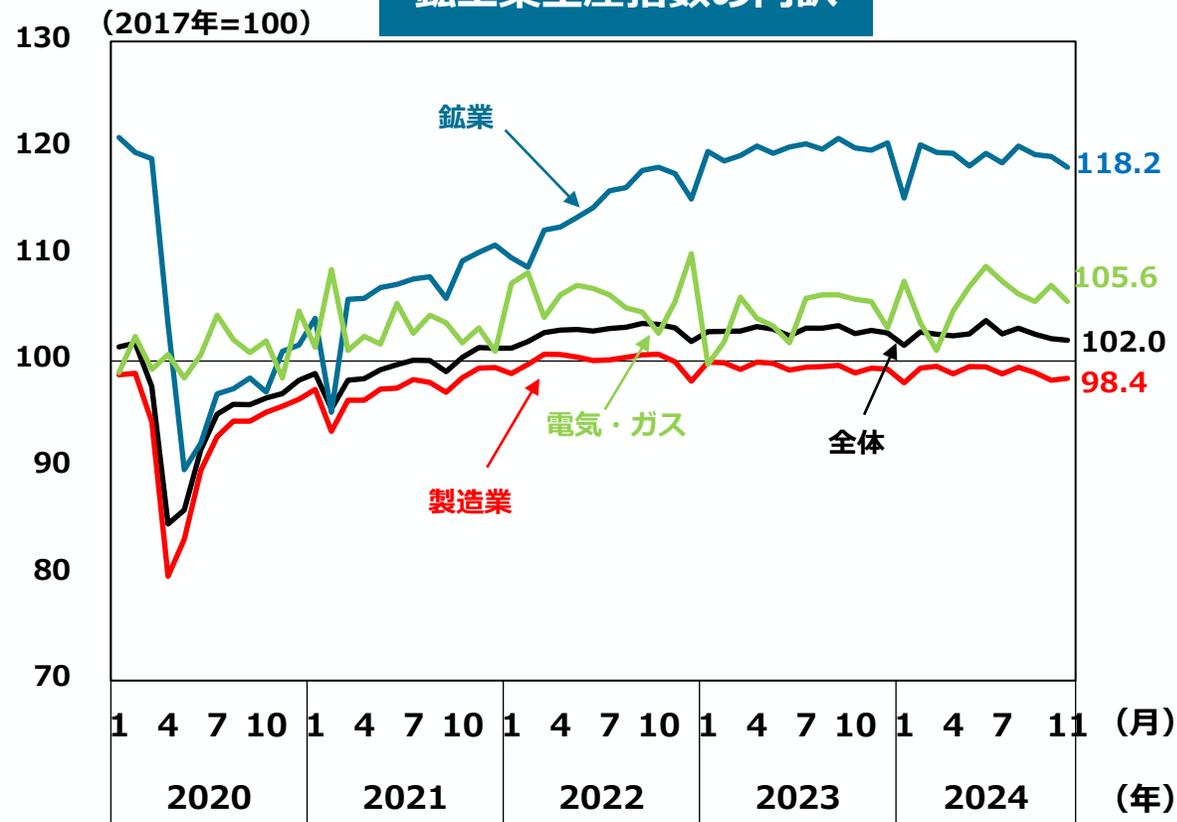
- 11月の鉱工業生産指数は前月比▲0.2%（前月：同▲0.4%）。
- 内訳をみると、製造業：前月比+0.2%、鉱業：同▲0.8%、電気・ガス生産：同▲1.4%。

鉱工業生産指数と設備稼働率



(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」 2024年12月17日公表

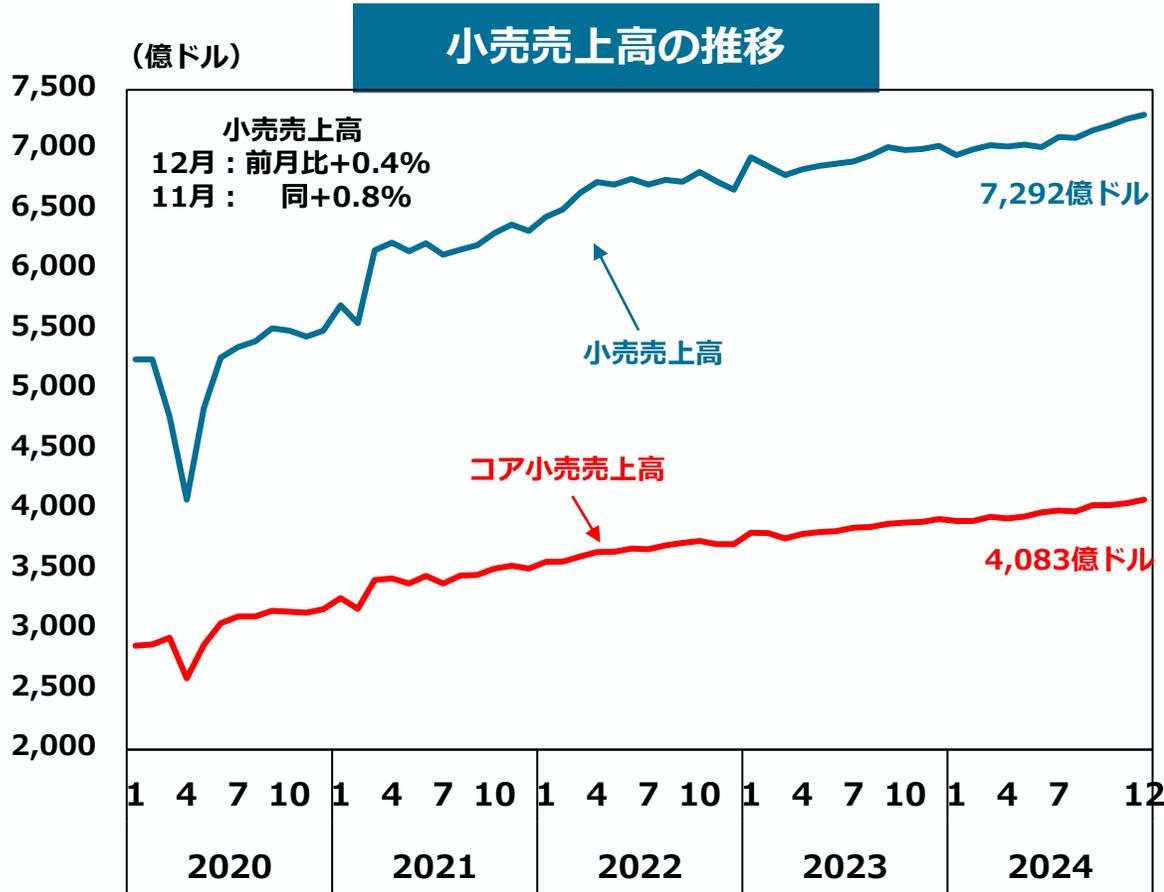
鉱工業生産指数の内訳



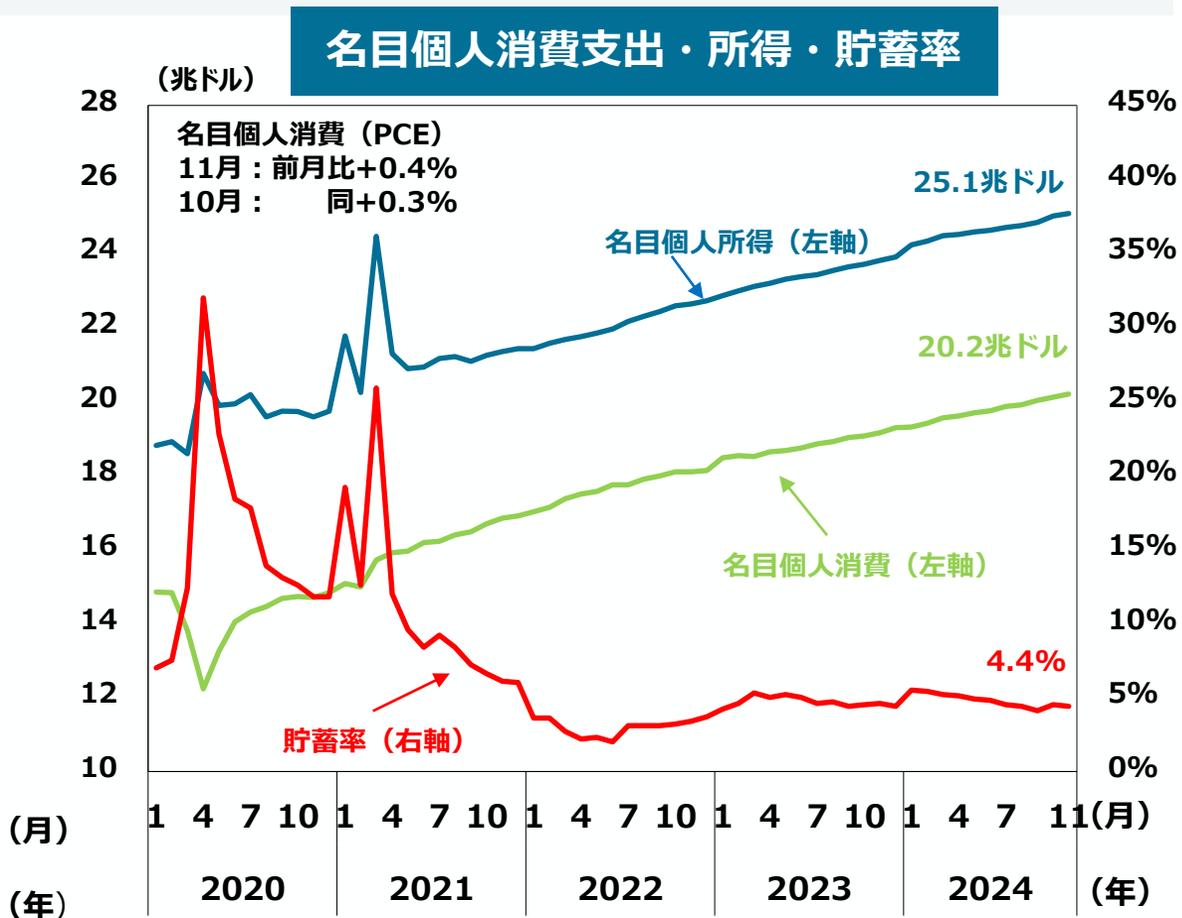
(資料) 米連邦準備制度理事会「鉱工業生産」 2024年12月17日公表

米国 消費

- 24年12月の小売売上高は、前月比+0.4%（前月：同+0.8%）となった。
- 24年11月の名目個人消費（PCE）は、前月比+0.4%（前月：同+0.3%）となった。



(注) 季節調整値。コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリンスタンド、建材、飲食店を除く。
(資料) 米商務省「小売売上高」2024年1月15日公表

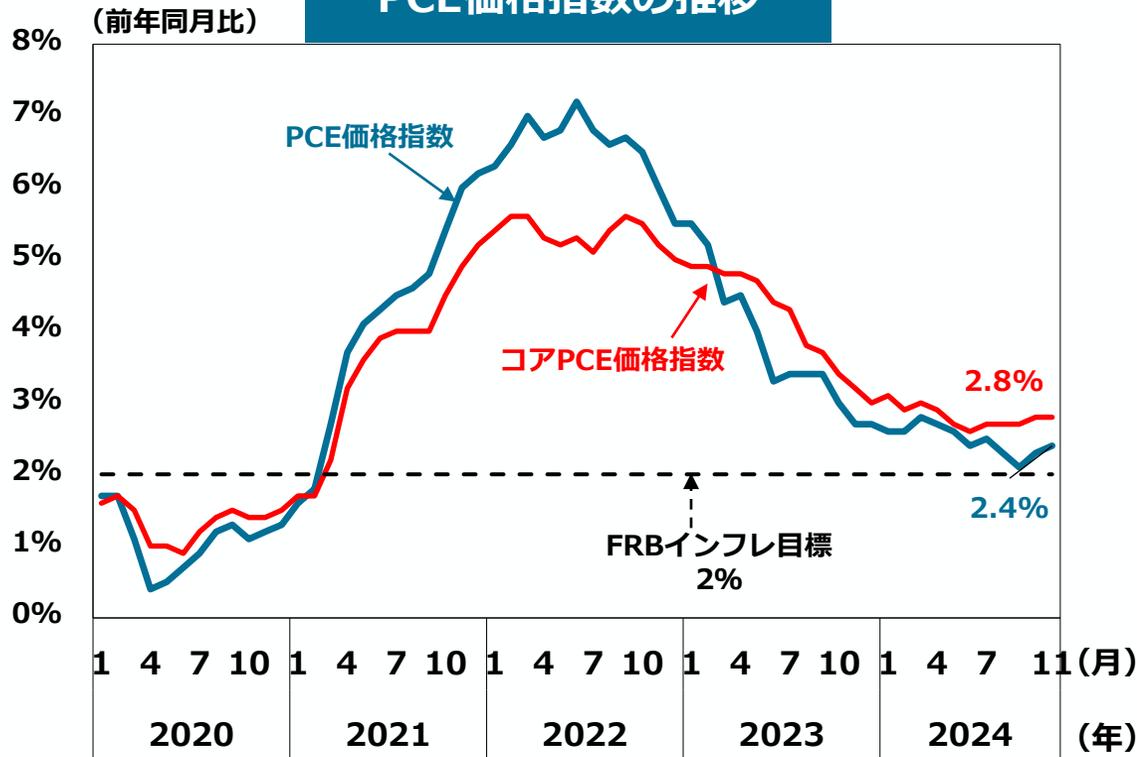


(注) 季節調整値
(資料) 米商務省「個人消費・所得」2024年12月20日公表

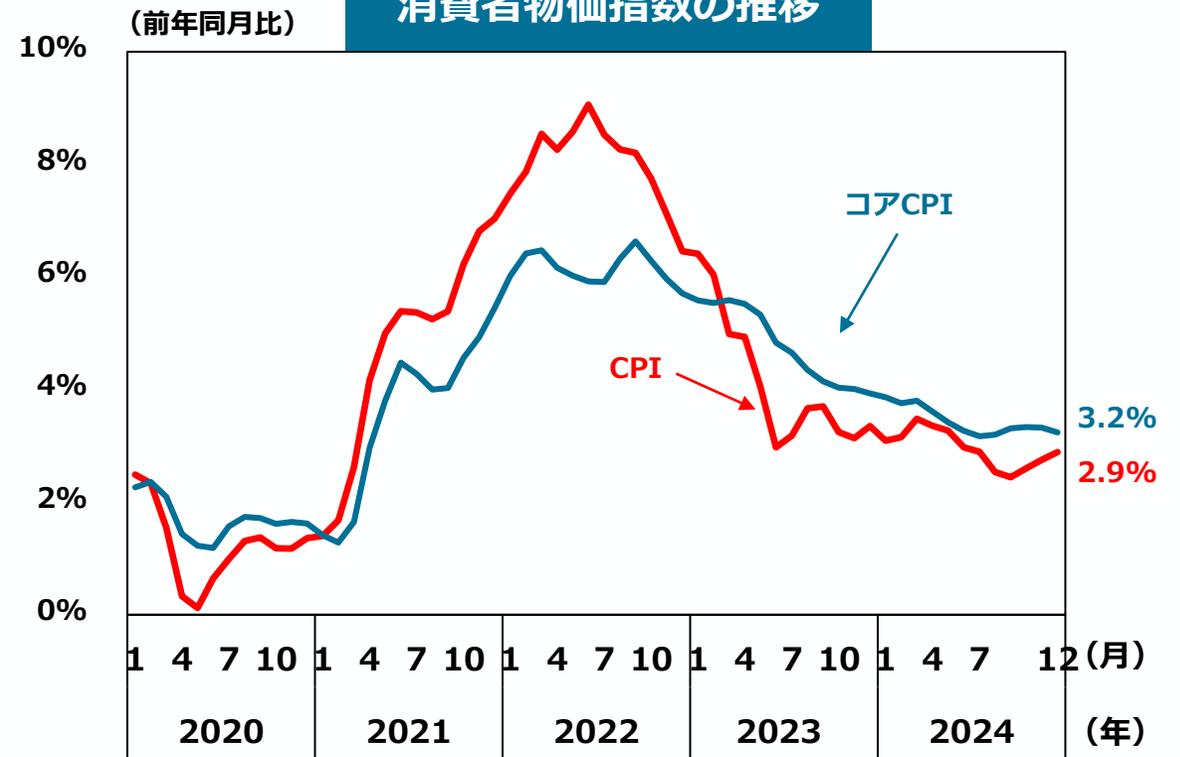
米国 物価①

- 24年11月のPCE価格指数は、前年同月比+2.4%（前月:同+2.3%）。
- 24年11月の消費者物価指数（CPI）は、前年同月比+2.9%（前月:同+2.7%）。

PCE価格指数の推移



消費者物価指数の推移



ご参考：CPIと個人消費支出（PCE）価格指数との主な違いは以下のとおり。なお、FRBはPCE価格指数をインフレ指標としている。

①計算方法：CPIはラスパイレズ指数を使用しており、上方バイアスが生じる。これに対し、PCEはフィッシャー指数（ラスパイレズ指数とパーシェ指数の幾何平均）を用いており、バイアスが生じにくい。②対象：CPIは消費者が直接的に支払う消費支出。PCEは保険制度による医療費の負担など間接的な支払いを含む。

（注）コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリン、建材、飲食を除く。

（資料）米商務省「PCE価格指数」2024年12月20日公表

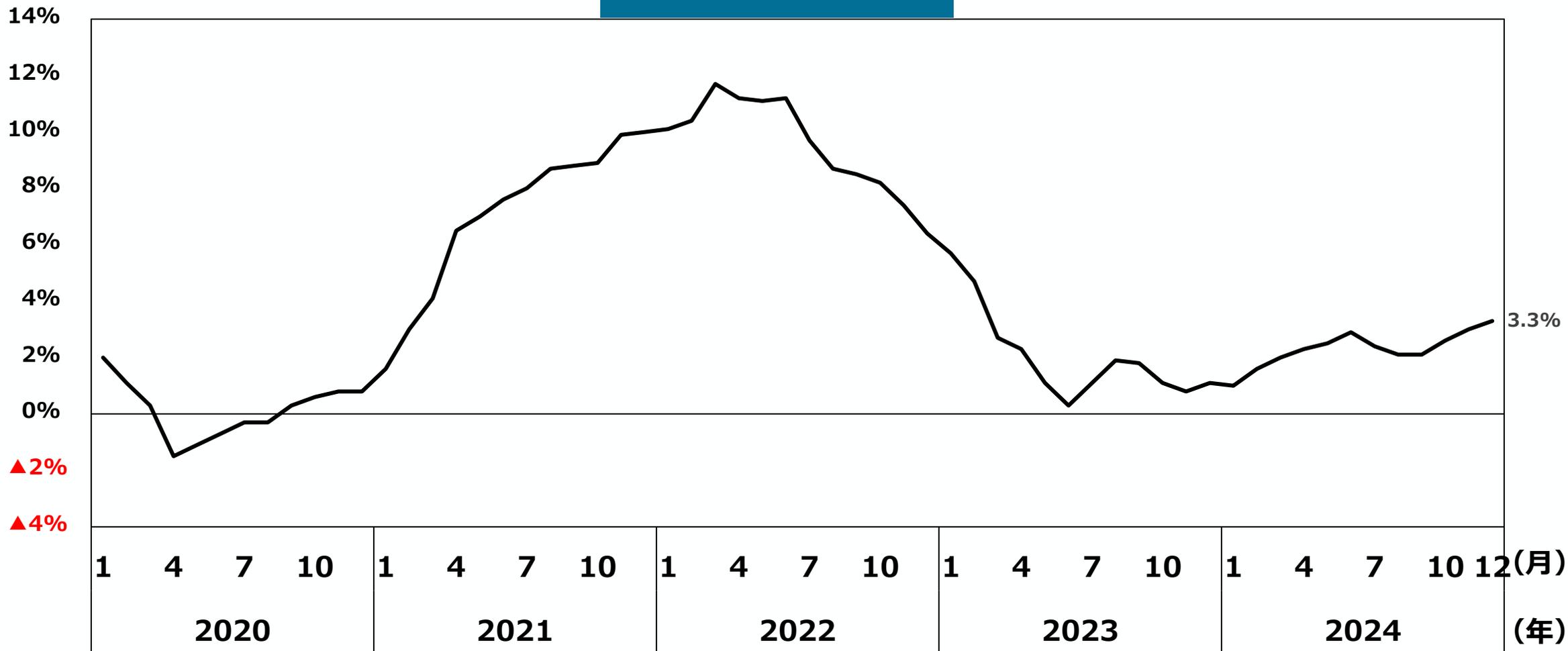
（注）コアは食料、エネルギーを除く。

（資料）米労働省「消費者物価指数（CPI）」2024年1月15日公表

米国 物価②

- 24年12月のPPI（卸売物価指数）は前年同月比+3.3%と、前月（同+3.0%）から上昇した。

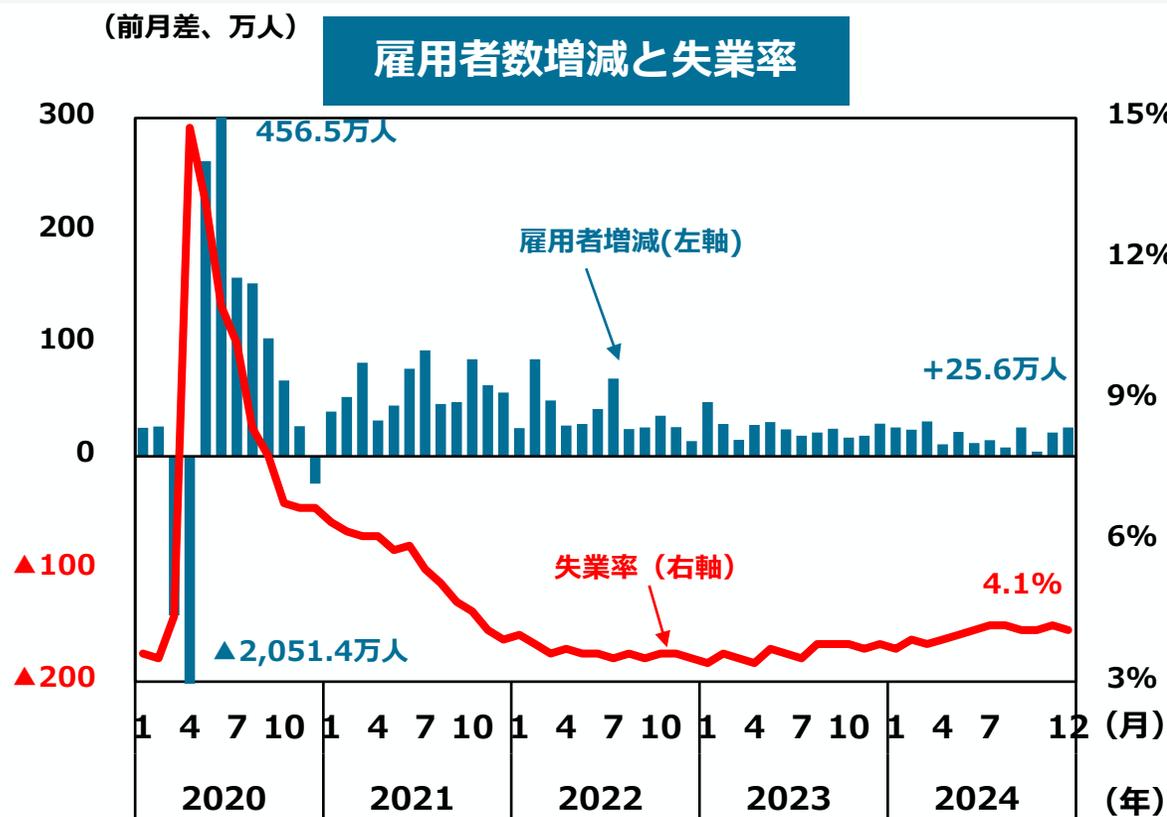
PPIの推移



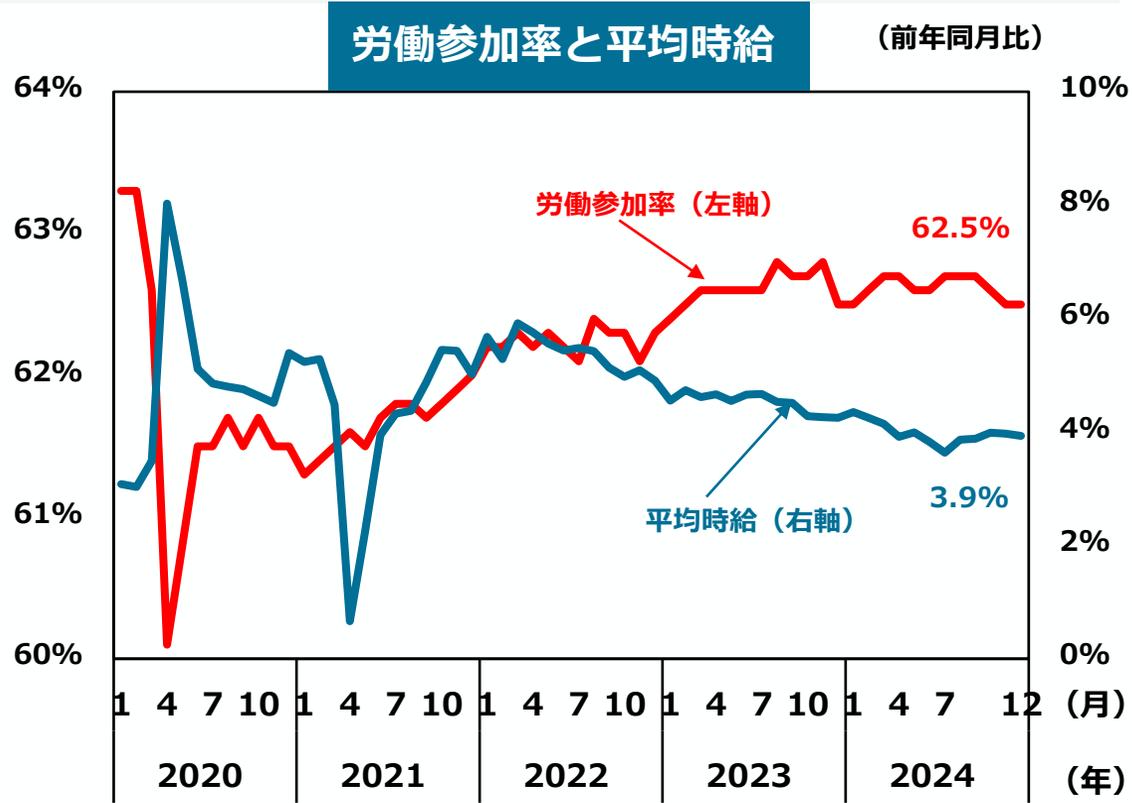
(資料) 米労働省「卸売物価指数」 2025年1月14日公表

米国 雇用

- 24年12月の非農業部門雇用者数は前月差+25.6万人と、前月（同+21.2万人）から増加。
- 失業率は4.1%と、前月（同4.2%）から改善。
- 平均時給は前年同月比+3.9%となり、労働参加率は62.5%となった。



(注) 季節調整値
(資料) 米労働省 2025年1月10日公表

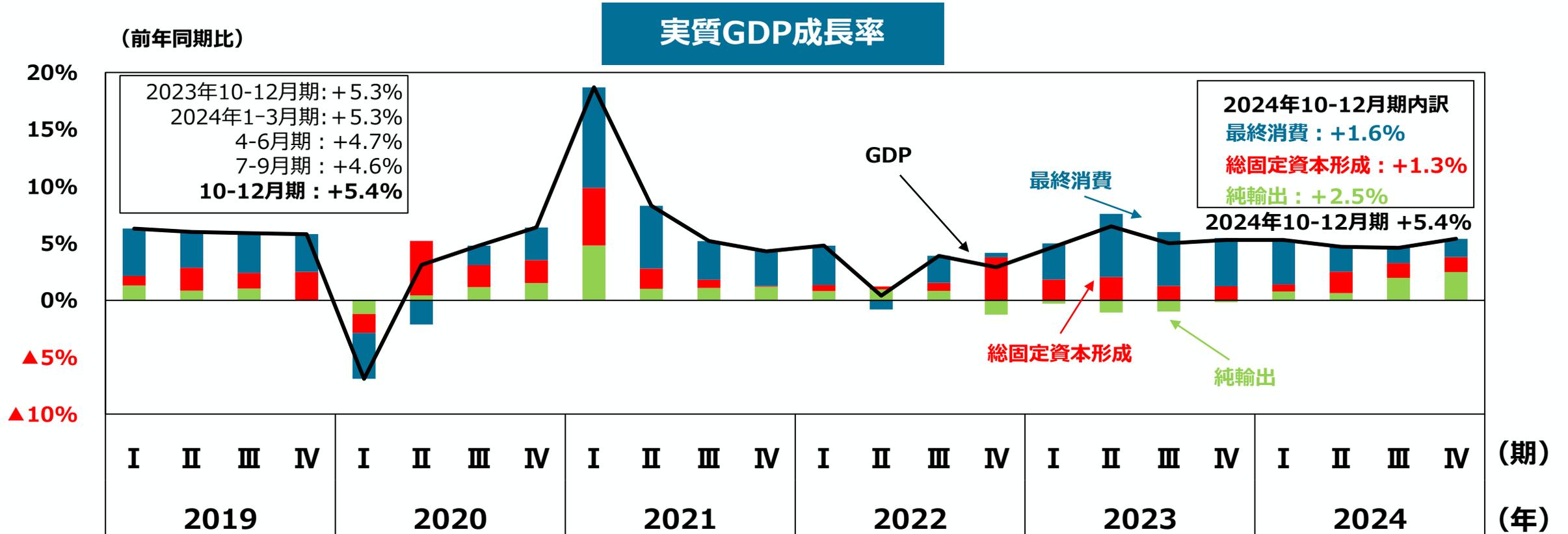


(注) 季節調整値
(資料) 米労働省 2025年1月10日公表

- 日本經濟
- 米國經濟
- 中國經濟
- 歐州經濟

中国 GDP

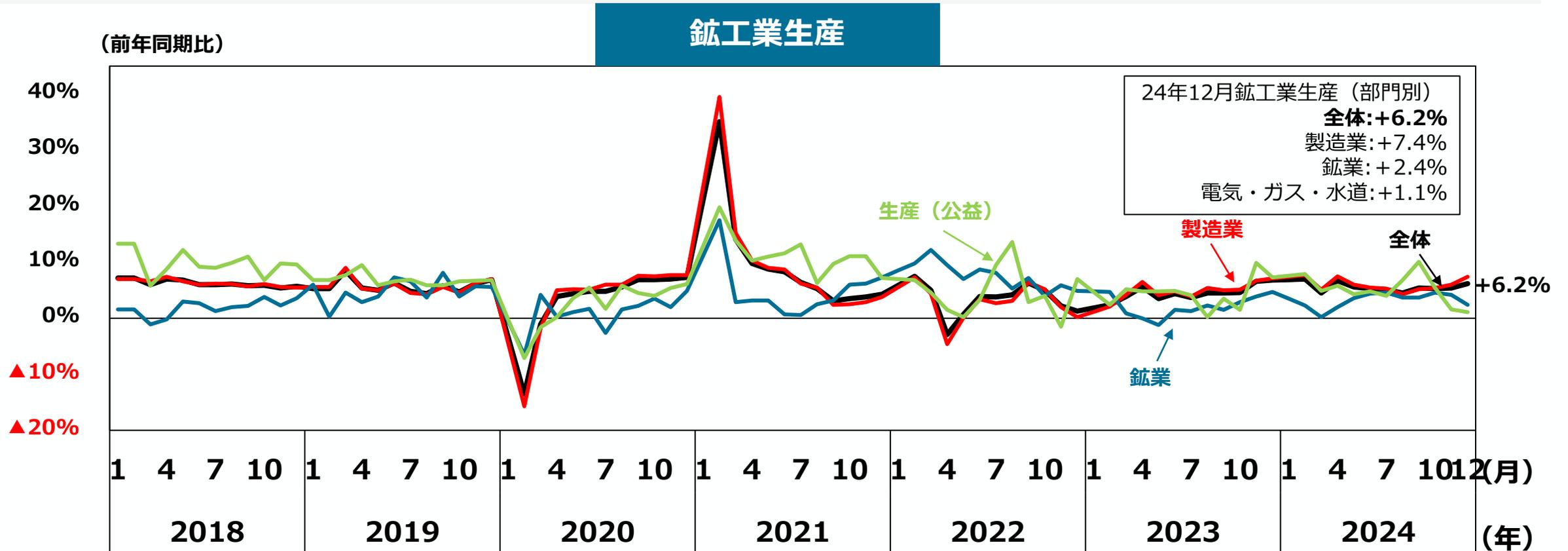
- 24年10-12月期の実質GDP成長率は、前年同期比+5.4%と前期（同+4.6%）から加速した。
- 最終消費は、前年同期比で+1.6%（前期：同+1.3%）、純輸出は+2.5%（前期：同+2.0%）と加速。総固定資本形成は同+1.3%（前期：同+1.3%）と横ばい。



(資料) CEIC(中国国家统计局) 2025年1月17日公表
 (注) 総固定資本形成: 住宅投資、設備投資、公共投資などの固定資本の追加分。

中国 生産

- 24年12月の鉱工業生産は、前年同期比+6.2%と前月（同+5.4%）から加速した。
- 製造業の生産は前年同期比+7.4%（前月：同+6.0%）と加速、鉱業は同+2.4%（前月：同+4.2%）、電気・ガス・水道は同+1.1%（前月：同+1.6%）と減速。

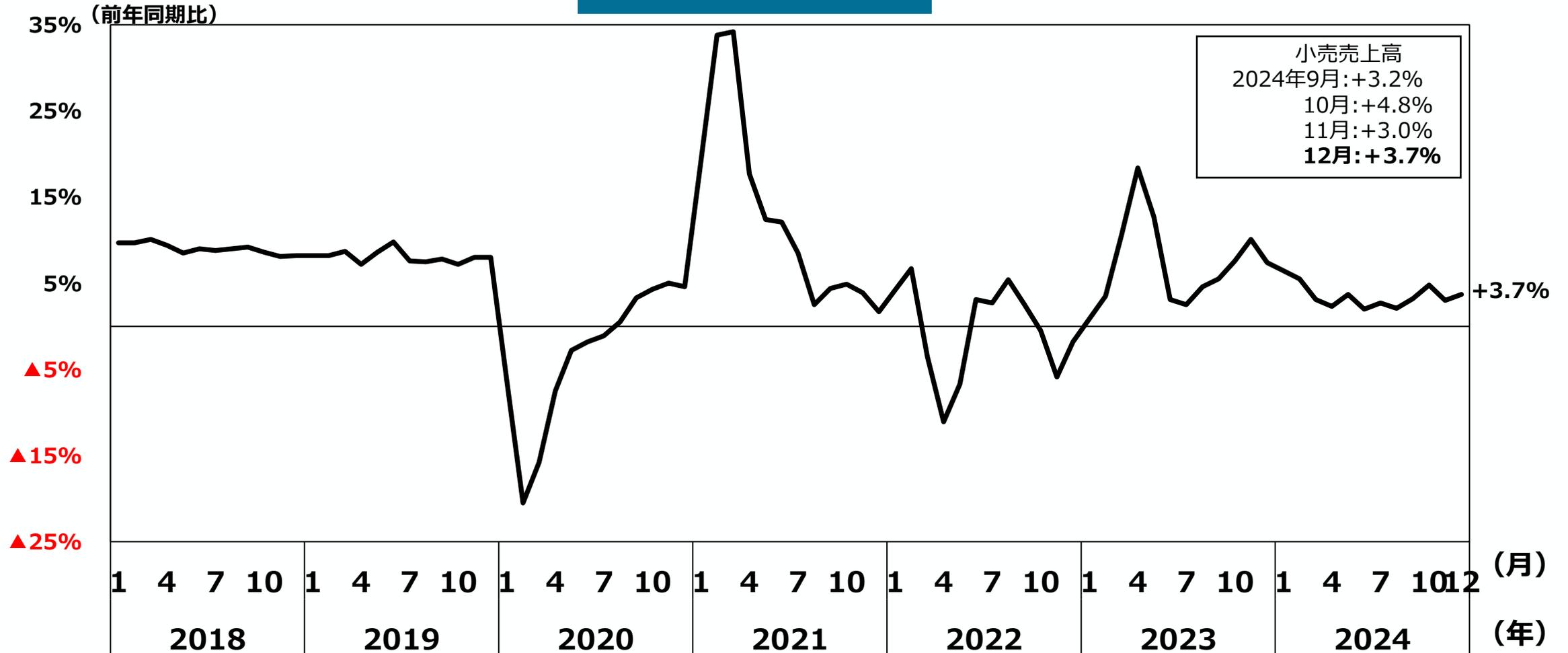


(資料) CEIC(中国国家统计局) 2025年1月17日公表

中国 消費

- 24年12月の名目小売売上高は、前年同月比+3.7%と、前月（同+3.0%）から加速。

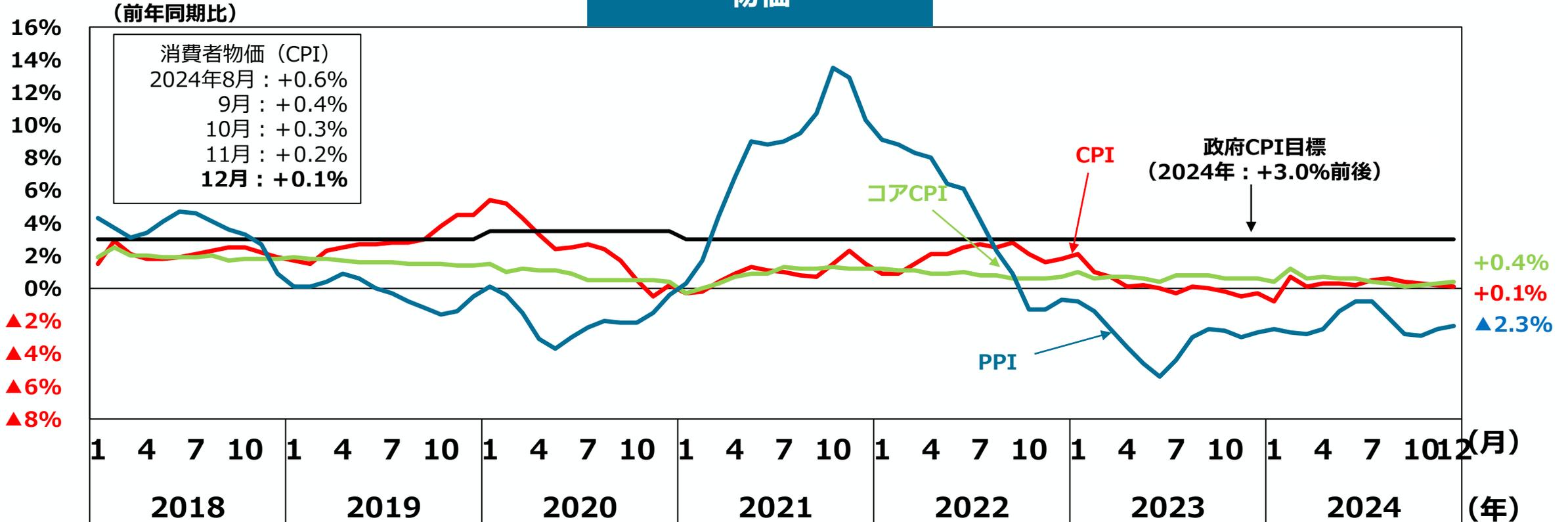
小売売上高



中国 物価

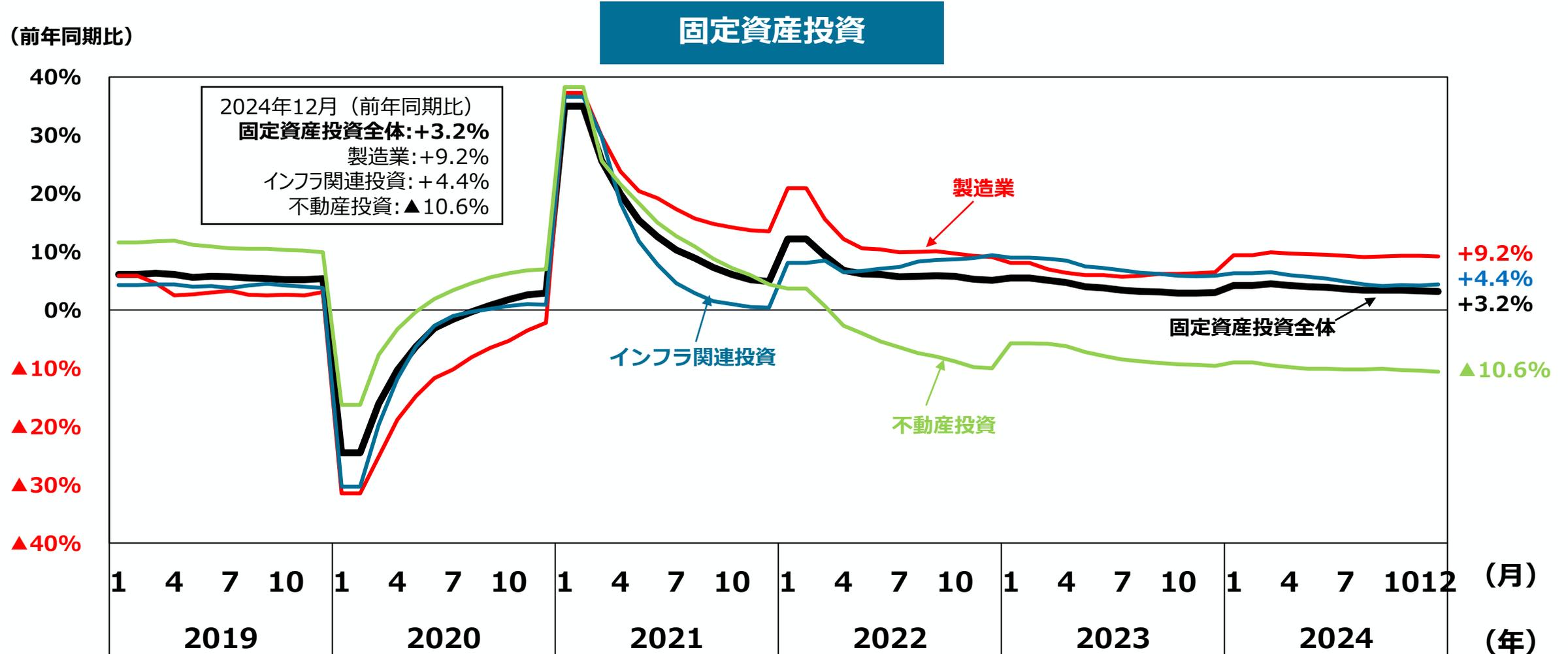
- 24年12月のCPI（消費者物価指数）は、前年同月比+0.1%（前月：同+0.2%）。
- PPI（生産者物価指数）は、前年同月比▲2.3%（前月：同▲2.5%）と、27ヶ月連続のマイナス。

物価



中国 固定資産投資

- 24年12月の固定資産投資は年初来前年比（注）+3.2%と、前月（同+3.3%）から減速。

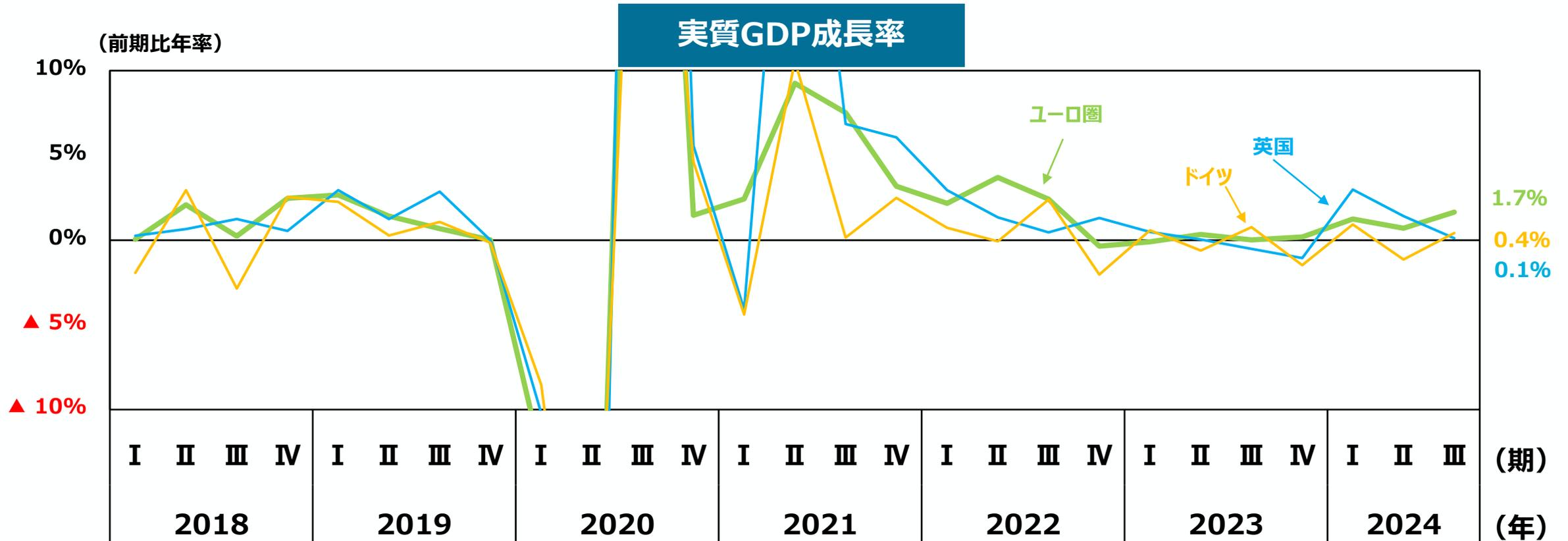


(注) 年初来前年比：1月から当月までの累計の前年比
 (資料) CEIC(中国国家统计局) 2025年1月17日公表

- 日本經濟
- 米國經濟
- 中國經濟
- 歐洲經濟**

欧州 実質GDP成長率

- ユーロ圏の24年7-9月期GDP（確報値）は前期比年率+1.7%と、6四半期連続のプラス成長。
ドイツ24年7-9月期GDP（確報値）は同0.4%と、2四半期ぶりのプラス成長。
- 英国の24年7-9月期GDP（速報値）は前期比年率+0.1%と、3四半期連続のプラス成長。

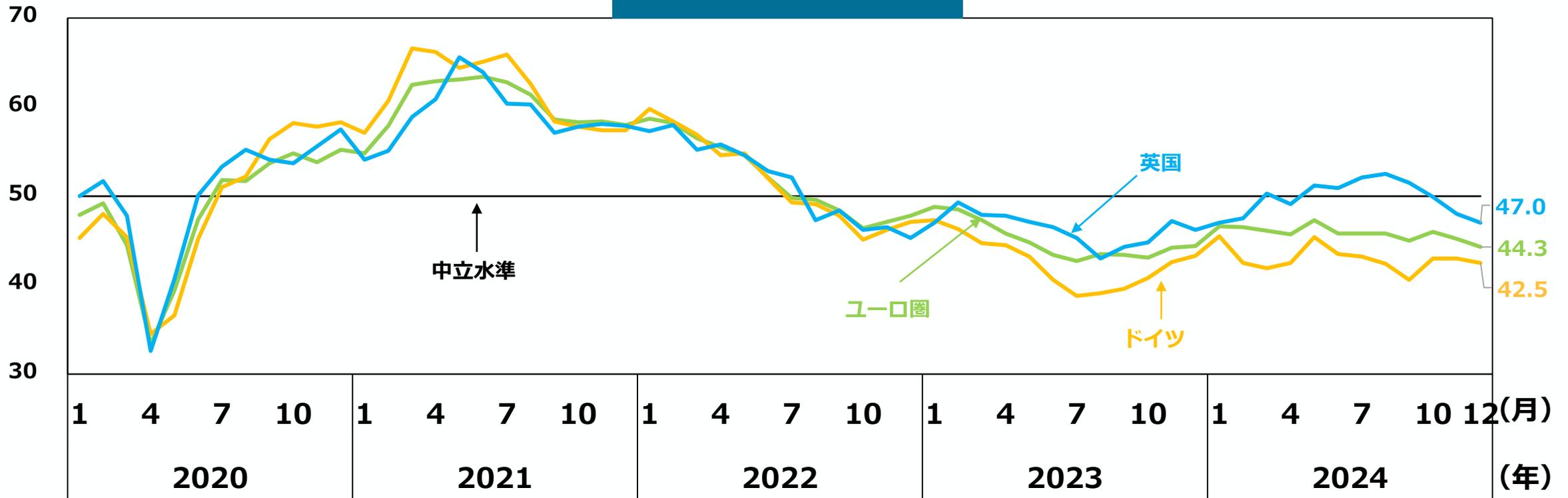


(資料) ユーロ圏：欧州委員会統計局 2024年12月6日公表 (3Q確報値)
英国：英国国家統計局 2024年12月23日公表 (3Q確報値)

欧州 製造業景況指数 (PMI)

- ユーロ圏の12月の製造業景況指数は、44.3と前月（45.2）から低下。
- ドイツの12月の製造業景況指数は、42.5と前月（43.0）から低下、英国も47.0と前月（48.0）から低下。

製造業景況指数

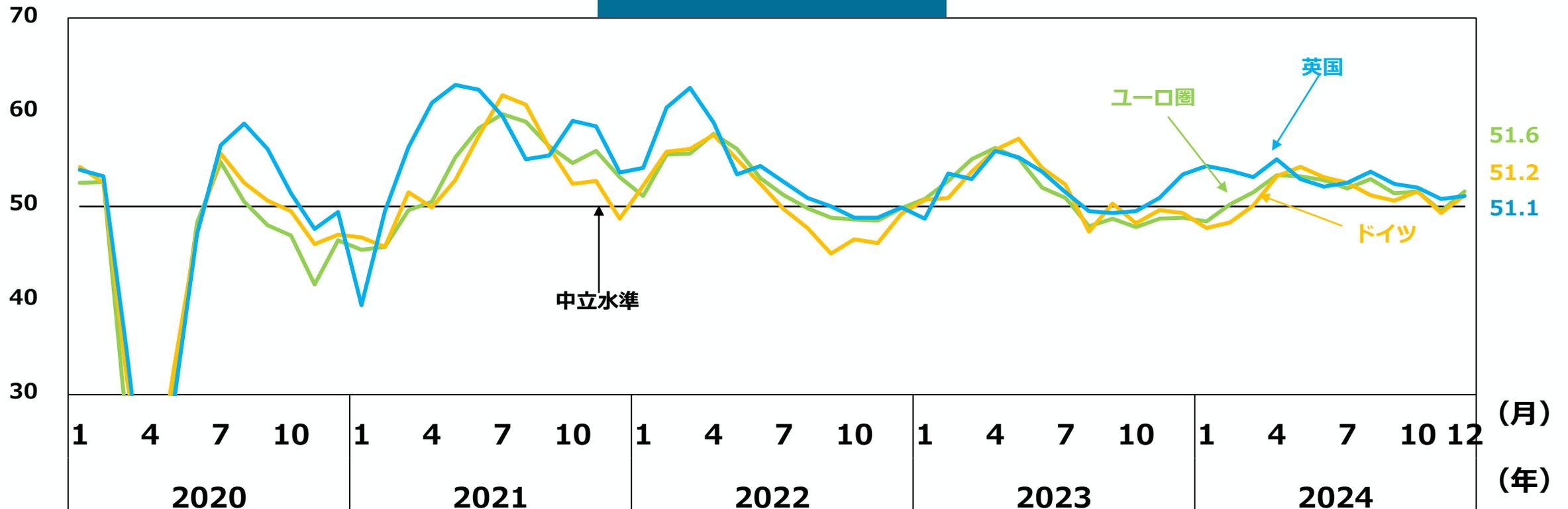


(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。
(資料) S&P Global「Markit PMI」2025年1月2日公表（確報値）

欧州 サービス業景況指数 (PMI)

- ユーロ圏の12月のサービス業景況指数は、51.6と前月（49.5）から上昇。
- ドイツの12月のサービス業景況指数は、51.2と前月（49.3）から上昇、英国も51.1と前月（50.8）から上昇。

サービス業景況指数



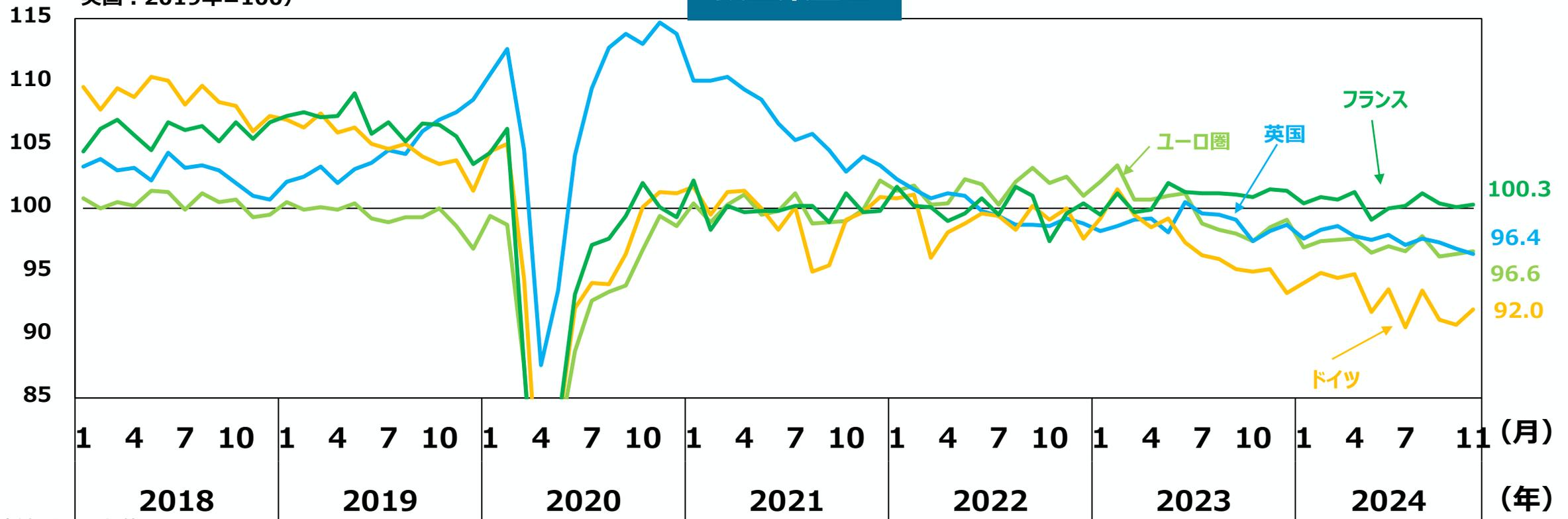
(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。
(資料) S&P Global「Markit PMI」2025年1月6日公表（確報値）

欧州 生産

- ユーロ圏の12月の鉱工業生産指数は前月比+0.2%と上昇。
国別で見ると、ドイツは同+1.3%、フランスは同+0.2%といずれも上昇。
- 英国の11月の鉱工業生産指数は前月比▲0.4%と低下。

(ユーロ圏・ドイツ・フランス：2021年=100、
英国：2019年=100)

鉱工業生産



(注) 季節調整値

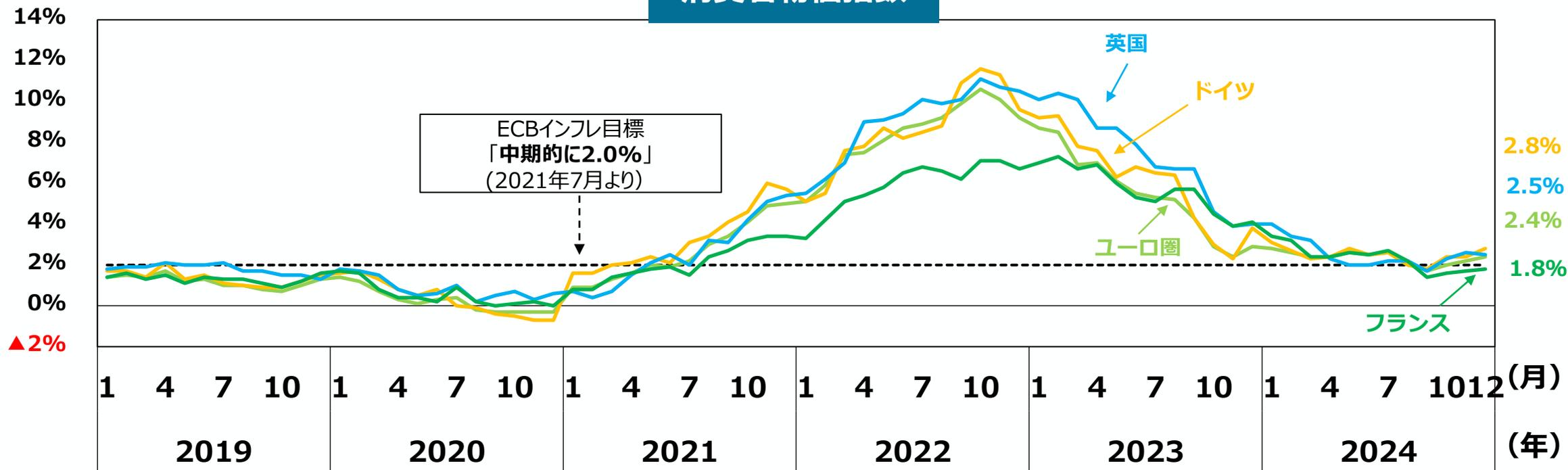
(資料) 欧州委員会統計局 2025年1月15日公表、英国国家統計局 2025年1月16日公表

欧州 物価①

- ユーロ圏の12月の消費者物価（HICP、確報値）は、前年同月比+2.4%と、前月（同+2.2%）から加速。国別では、ドイツが同+2.8%（前月：同+2.4%）、フランスが同+1.8%（前月：同+1.7%）と共に加速。
- 英国の12月の消費者物価（CPI）は、前年同月比+2.5%と、前月（同+2.3%）から低下。

（前年同月比）

消費者物価指数



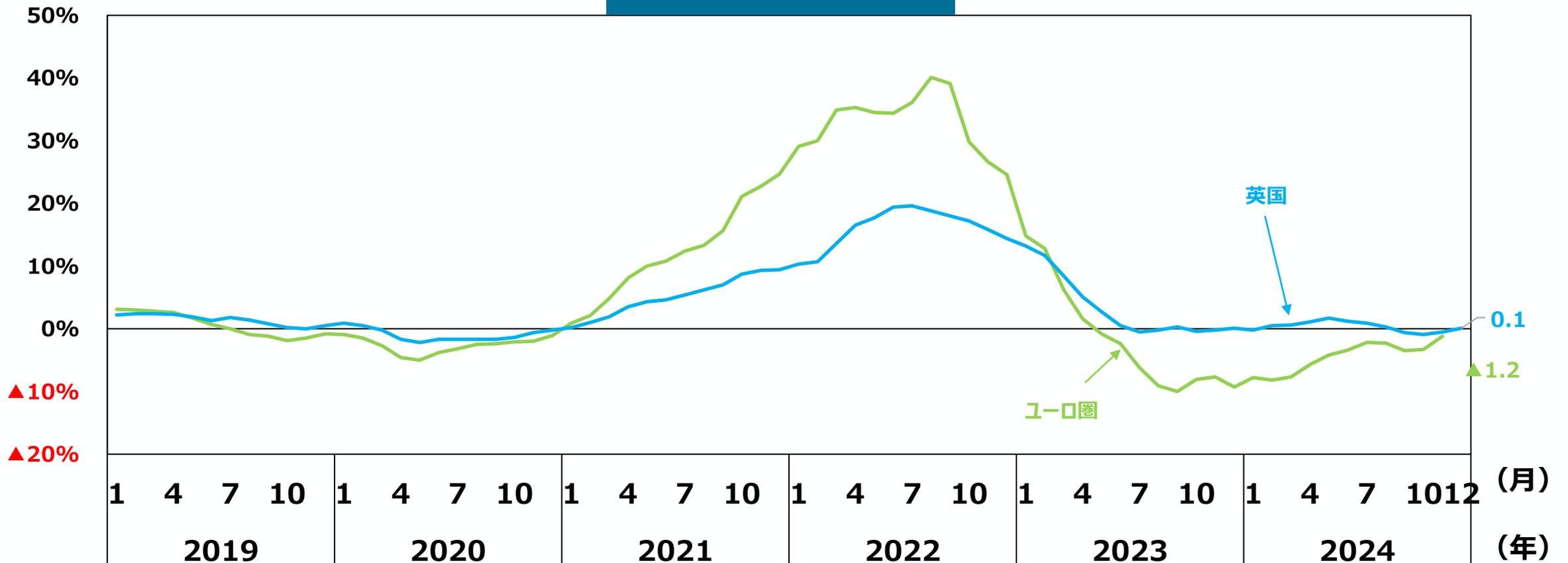
（資料）ユーロ圏・ドイツ・フランス：欧州委員会統計局 2025年1月17日公表（確報値）
英国：英国国家統計局 2025年1月15日公表

欧州 物価②

- ユーロ圏の11月の企業物価指数は、前年同月比▲1.2%（前月：同▲3.3%）。
- 英国の12月の生産者物価指数（出荷）は、前年同月比+0.1%（前月：同▲0.5%）。

(前年同月比)

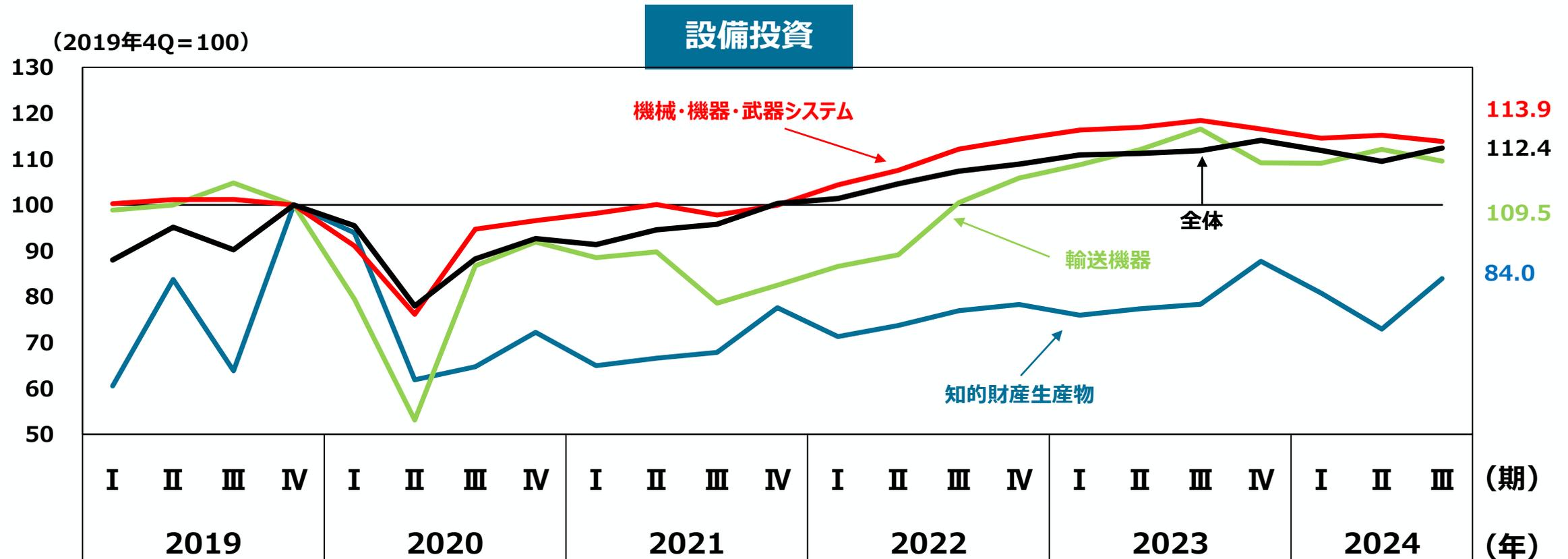
企業物価指数



(資料) 欧州委員会統計局 2025年1月8日公表
英国国家統計局 2025年1月15日公表

欧州 設備投資

- 24年7-9月期の設備投資額は、コロナ禍前の19年10-12月期と比較すると、全体で+12.4%。
- 分野別では、機械・機器・武器システムは+13.9%、輸送機器は+9.5%、知的財産生産物は▲16.0%。

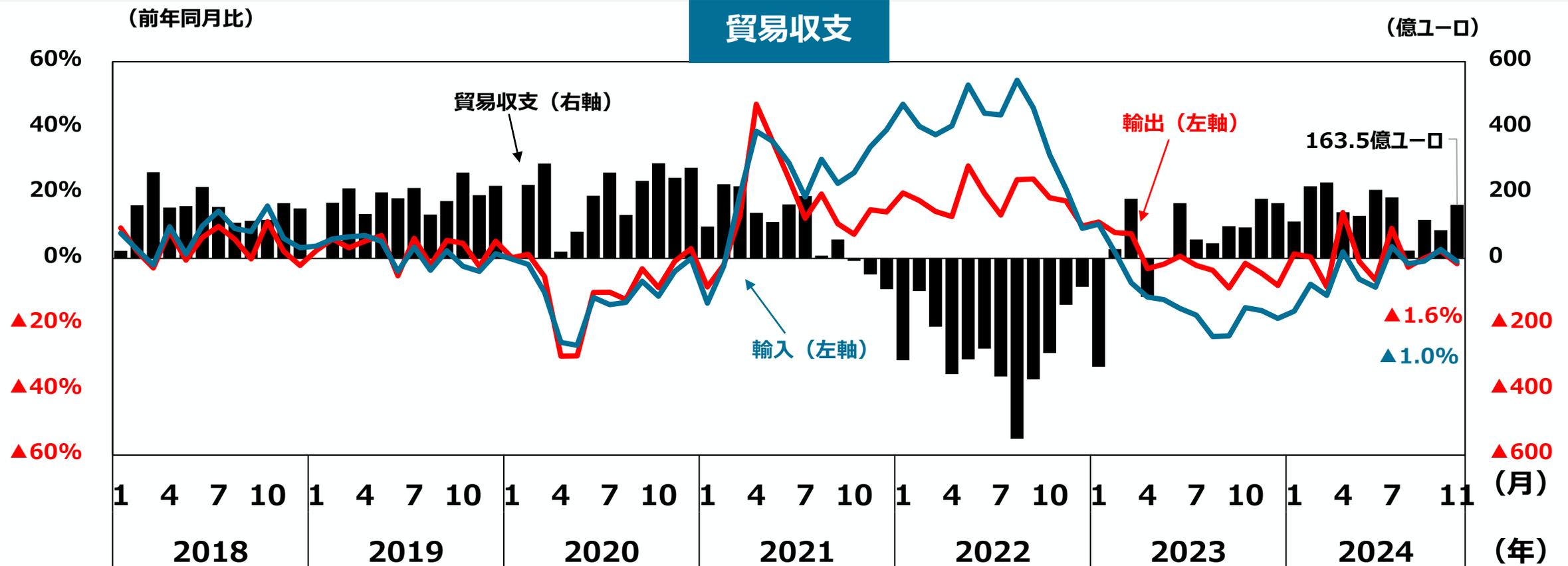


(注) 季節調整値

(資料) 欧州委員会統計局 2024年12月6日公表 (3Q確報)

欧州 輸出入

- ユーロ圏の11月の輸出額（2,483億ユーロ）は、前年同月比▲1.6%、輸入額（2,319億ユーロ）は、同▲1.0%。
- 貿易収支は+163.5億ユーロと、18ヶ月連続の黒字。

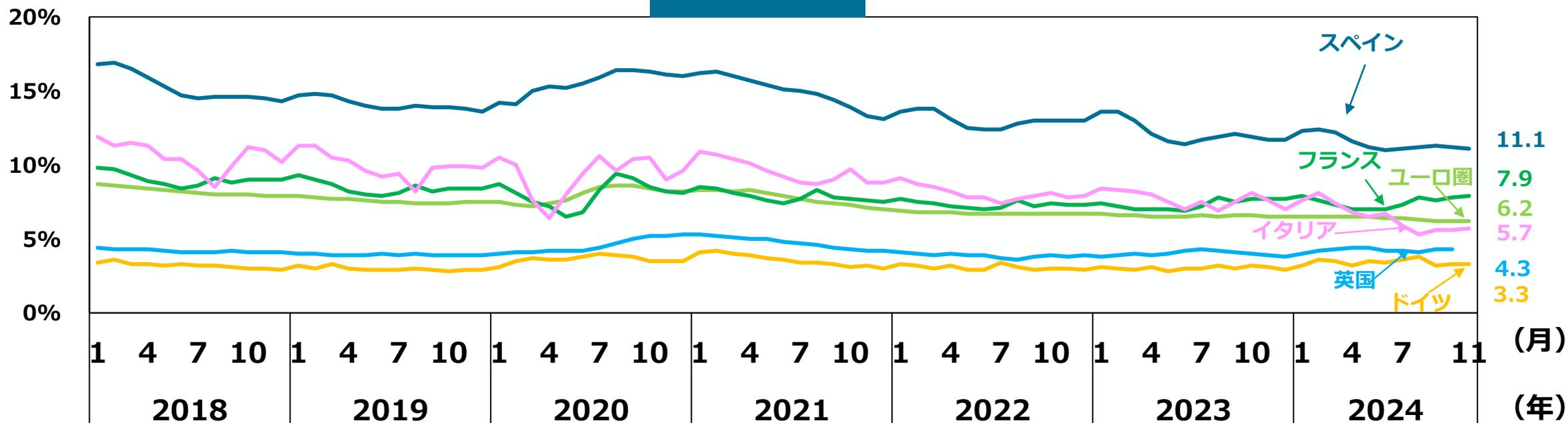


(資料) 欧州委員会統計局 2025年1月16日公表

欧州 雇用

- ユーロ圏の11月の失業率は6.2%と、前月（6.2%）から横ばい。
- 国別では、ドイツ（3.3%→3.3%）は横ばい、フランス（7.8%→7.9%）、イタリア（5.6%→5.7%）は上昇、スペイン（11.2%→11.1%）は低下。
- 英国の10月の失業率は4.3%と、前月（4.3%）から横ばい。

失業率



(注) 季節調整値、英国は3ヶ月後方移動平均値

(資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン：欧州委員会統計局 2025年1月7日公表

英国：英国国家統計局 2024年12月17日公表